



服部

漢字用例

服部文庫  
イ 17  
2215





○漢字用例目次

あ、部  
あがなふ、購、贖、  
あぐ(あがる)揚、舉、昂、  
あたたか(あたたか)あたる(あたる)む、  
あたる(あたる)當、中、  
あつむ(あつまる)集、  
あと、跡、迹、  
あはれむ、憐、憫、蹟、  
あふ(あはす)合、遇、  
あへて、敢、肯、  
會、逢、遭、  
痕、軌、聚、萃、  
方、輯、  
暖、温、煖、

あまねし 普、周、遍、  
 あやうし (あやぶむ) 危、殆、  
 あやまり (あやまち) (あやまる) 改、悛、誤、謬、過、  
 あらたむ (あらたまる) 改、悛、誤、謬、過、  
 いノ計部、

いかる 怒、恚、愠、愆、怨、  
 いこふ (やすむ) 息、愆、怨、  
 いきむ 諫、諷、  
 いたく 抱、懐、  
 いたむ 悼、痛、  
 いたる 至、到、  
 いたはる (いつはり) 偽、詐、詭、  
 懐、操、  
 慘、疼、傷、

いぬ 寢、寐、  
 いはふ 祝、賀、  
 いふ 曰、云、  
 いまむ (いまめ) 戒、  
 いまむ (いまめ) 誠、  
 いやし (いやしむ) 卑、  
 戒、謂、  
 卑、  
 箴、

う 部  
 うかぶ 伺、窺、  
 うく 受、承、  
 うごく (うごかす) 動、  
 うしなふ (うす) 失、  
 うつ 撃、打、  
 擧、  
 拍、撲、  
 討、伐、  
 稟、饗、享、  
 揺、蕩、  
 喪、亡、  
 獲、窺、  
 承、  
 動、  
 失、  
 擧、打、  
 拍、撲、  
 討、伐、



か わ く (かゆかす) 乾 燥  
き く (きこゆ) 聽 聞 傷 瑕 窮 潔  
き ず 創 疵 傷 瑕 窮 潔  
き は む (きはまる) 疵 傷 瑕 窮 潔  
き よ し (きよむ) 斬 伐 清 淨 窮 潔  
き る 切 斬 伐 清 淨 窮 潔  
く 部 部 切 斬 伐 清 淨 窮 潔  
く だ く 碎 摧 頽 覆 顛  
く つ か へ る 崩 壞 頽 覆 顛  
く づ る 配 賦 頽 覆 顛  
く げ る 配 賦 頽 覆 顛

か か く 揭 褰  
か が や く (かッヤウ) 褰  
か く (かッ) 掛 懸 耀  
か く (かッ) 掛 懸 耀  
か た し (かたむ) 堅 固 窟 係 曜  
か つ 勝 捷 固 窟 係 曜  
か な し む 適 稱 哀 捷 固 窟 係 曜  
か は る (かふ) 變 稱 哀 捷 固 窟 係 曜  
か へ り み る 顧 變 稱 哀 捷 固 窟 係 曜  
か へ る (かへす) 歸 顧 變 稱 哀 捷 固 窟 係 曜  
か ん が う 考 歸 顧 變 稱 哀 捷 固 窟 係 曜  
按 還 省 代 協 哀 捷 固 窟 係 曜  
廻 眄 易 復 更 替 換  
硬 匿 係 曜 煥 煌 灼

これ(この) 殺 此 是 斯 之 維  
 ころす 殺 誅 戮 弑  
 さかふ 逆 忤 壯 昌 隆 熾  
 さかんなり 裂 割 壯 昌 隆 熾  
 さく 裂 割 壯 昌 隆 熾  
 さぐる(さかす) 割 壯 昌 隆 熾  
 さくはさむ 挾 壯 昌 隆 熾  
 さだむ 定 莫 決 挿 探 搜 剖 昌 隆 熾  
 さとる(さとす) 覺 覺 莫 決 挿 探 搜 剖 昌 隆 熾  
 さむ(さます) 違 覺 覺 莫 決 挿 探 搜 剖 昌 隆 熾  
 さる 去 違 覺 覺 莫 決 挿 探 搜 剖 昌 隆 熾

くむ 汲 酌 掬 斟  
 くらふ(くふ) 食 喫  
 くる(む) 食 喫  
 けがる(けがす) 汚 瀆  
 こたう 答 對 應 特 庶幾  
 ことごとく 盡 悉 尚 庶幾  
 ことに(ことなり) 盡 悉 尚 庶幾  
 こひぬがふ 希 冀 尚 庶幾  
 こふ 請 乞 尚 庶幾  
 こゆ(こす) 越 踰 超 庶幾

さわぐ(さわがす) 騒 躁 噪 譟

し、部 しまりに 隨 切 率 順

したかふ 欽 遵 率

しづか 閑 徐 寂

しばらく 却 且 舒 擯

しる 識 斥 黜 擯

すくふ 勸 進 援 棄 羞 廢

すつ(すた)る 既 已 撤

すなはち 都 則 棄 薦 羞 廢

すべて 速 總 凡 乃 撤 羞 廢

すみやか 任 棲 急 渾 總 凡 乃 撤 羞 廢

せ、部 狭 隘 福 讓 敦

せまる 攻 逼

せむ 責 薄 隘

せむ 讓 敦

たの ーむ  
たとへ(たとへば)  
たづぬ  
たちまち  
たいてす  
た、かく  
た、かふ  
た、い  
たすく  
たけなは、  
たくはふ

助、唯、戰、叩、正、忽、立、桑、  
貯、酣、援、惟、鬪、敵、訂、倏、起、原、  
樂、

糞、假、討、建、乍、紘、  
嬉、今、踪、匡、  
譬、  
規、  
喻、  
例、  
徒、輔、  
壺、扶、  
資、  
但、祛、闡、蓋、  
只、佐、儲、

たがふ  
たがふに  
たの部  
それ、(その)  
そむく  
そふ  
そは、たつ  
そ、なふ  
そ、い、ぶ  
そ、し、る  
そこ、なふ、部

差、互、  
背、添、敬、備、注、誹、

遠、遞、  
夫、叛、副、峙、供、濺、諷、害、

迭、  
其、乖、貳、側、具、洒、譏、傷、

厥、傍、饌、沃、毀、損、

灌、短、賤、

漑、





ながい 長  
 なかれ 勿  
 なく 鳴  
 なげうつ 抛  
 なげく 慨  
 なす(なる) 猶  
 なほ 惱  
 なやむ 習  
 なる(ならず) 習  
 に、部  
 北、  
 脱、  
 亡、  
 逃、  
 遁、

とがむ 尤  
 ととき 時  
 ところ 所  
 とづ(とぎす) 調  
 といのふ 調  
 といむ(といまる) 整  
 とふ 問  
 とほる(とほす) 訪  
 とる 採  
 とる 取  
 な、部  
 攬、  
 操、  
 執、  
 洞、



むま 隙 間 罅 廣 博 弘 汎 寬  
ひろし(むろむ) 闊 廣 博 弘 汎 寬  
ふくむ 舍 街 俯 踏 踐  
ふせぐ 防 禦 拒 履 踐  
ふるむ 揮 踏 奮 履 踐  
ふるふ 揮 踏 奮 履 踐  
へだつ 隔 阻 侮  
へつらふ 諂 諛 侮  
ほ、部

はづ(はぢ) 恥 辱 愧 慙 赧 忤  
はなはだ 甚 酷 捷 速 遼 遼  
はやし 早 拏 攘 捷 速 遼 遼  
はらふ 掃 逡 攘 捷 速 遼 遼  
はるか、 遙 遡 遼 遼  
ひ、部  
ひきぬる 引、 曳、 牽、 挽、 率、 援、 帥、 延、  
ひく 引、 曳、 牽、 挽、 率、 援、 帥、 延、  
ひくし 低、 卑、 牽、 挽、 率、 援、 帥、 延、  
ひそかに 竊、 陰、 潛、  
ひとし 單、 均、 齊、 隈、 潛、  
ひとへに 單、 均、 齊、 隈、 潛、

また 又、待、祭、守、稀、妄、猥、復、  
 まつ 申、白、  
 まつた 眞、啓、奏、稟、  
 まつる 眞、當、誠、信、  
 まれ 眞、實、  
 みだりに 眞、實、  
 みち 眞、實、  
 みつ 眞、實、  
 みづから 眞、實、  
 みな 眞、實、

ほこる 誇、  
 ほし、い、ま、に 誇、  
 ほとんと 殆、  
 ほとり 邊、  
 ほい 略、  
 ほむ 褒、  
 ほろぶ (ほろぼす) 譽、  
 ま、部 眞、  
 まうす 申、  
 まこと (まことに) 眞、  
 まさに 眞、  
 ますく 益、  
 益、正、  
 増、當、  
 滋、將、  
 亡、賞、  
 減、  
 方、信、  
 實、稟、

誇、  
 殆、  
 邊、  
 略、  
 褒、  
 譽、  
 側、  
 瀕、  
 擅、  
 放、  
 縱、  
 肆、

ゆく	ゆ、部	や、部	や、部	や、部	や、部	や、部	や、部	よ、の	よ、の
行		稍	疾	破	宿	安	養	者	辰
往		較	病	敗	舎	易	牧	物	悖
逝		疾	和		寔	畜		悞	
		瘡	柔		康	育		根	
					泰				

もとむ	もと	もつとも	めむる	む、部	む、部	む、部	む、部	みる
求	本	最	巡	空	結	報	向	見
索	元	尤	旋	虚	締	酬	迎	視
需	原		周	曠		邀		看
要	素		環					觀
	固							覽



をはる (をふ) 終了 畢 卒  
 をる 居 處  
 をる 折 拉 拗

漢字用例

あゝ部

あゝ

嗚呼 嘆美哀傷悲恨ヲ表ス感歎詞ナリ ○嗚呼盛哉

噫 哀傷痛恨ヲ表スル感歎詞ナリ ○噫斗筭之人何足算乎語論

あがなふ

購ふ 金錢ニ買ヒ取ルコト ○購求 ○購千金

贖ふ 罪ヲ代リニ出ダスコト ○贖罪

あぐ (あがる)

揚ぐ 高ク打チアケルコト ○抑揚 ○揚揚自得

舉ぐ 下ヨリモウアケルコト ○推舉 ○一舉手一投足

昂ぐる 氣アケルコト ○激昂 ○昂然



あたるかし

暖か

熱度高きヲ云フ

○日暖

○風暖

温か

水稍アタタカキヲ云フ

○温泉

○温暖

○温和

暖む

物ヲアタタキテ云フ

○煖酒

○煖爐

あたる(あつ)

當る

正當なる義

○正當

○至當

○適當

○擔當

○當直

中る

的ニタリコト

○的中

○百發百中

○中毒

方る

方今

あつむ(あつまる)

集む

多クハ所ニ寄ルコト

○召集

○集會

○集合

纂む

書物ヲカキアツルコト

○編纂

輯む

○編輯

聚む

○聚合

萃む

○拔萃

あと

跡

足ヲトコト

○足跡

○形跡

迹

此ニ字ハ跡ト通用ス

○墨蹟

○事蹟

○不踐迹

論語

痕

アトヲキタルコト

○瘡痕

○淚痕

○墨痕

軌

車輪ノコト

○軌道

○同軌

○軌範

あはれむ

憐む

カヒクヲ思フコト

○愛憐

○可憐

○憐花

○憐月

憫む

心ニシテ思フコト

○憫心

あふ(あはす)

合ふ 物ニ合ハルコト ○會合 ○符合 ○合計  
遇ふ 期ニシテ出テアフコト ○奇遇 ○遭遇  
會ふ ○會話  
逢ふ ○相逢  
遭ふ ○遭難

あへて

敢て オレキツテト云フ意ハ心所キ義 ○敢問 ○敢辭 ○敢為  
肯て 可シクシテト云フ意中ニ納得ニテス義 ○肯來 ○肯諾

あまね

普ぬ 總体ニシテ義 ○普及 ○普天之下、莫シ非<sup>レ</sup>王土<sup>ニ</sup>詩  
周ぬ 一ニテバ<sup>リ</sup>義 ○周到  
遍ぬ ○遍照

あやふし (あやぶむ)

危し アハナクテ顛覆ニセマリ近アリコト ○危難 ○危急 ○危峰  
○危樓

あやまり (あやまち、あやまる)

殆ふし アハナクニテ不安心ナルコト ○危殆 ○岌々乎亦曰殆哉<sup>礼記</sup>  
誤り ○誤解 ○誤謬  
謬り ○謬見  
過ち 思ハケ又仕ソコナイラスルコト ○過失

あらたむ (あらたまる)

改む モノヲイホスコト ○更改 ○變改 ○改正 ○過則勿憚<sup>論語</sup>改<sup>論語</sup>  
悛む 心ヲ直スコト ○悔悛  
革む 根本ヨリ變スルコト ○改革 ○革命

更む ○變改 ○變更 ○更新

あらはる (あらはす)

顯はる 幽反對ナリ ○顯微 ○貴顯 ○顯榮

著はる 明カニ見ユキト又書物ヲ作ルコト ○著明 ○顯著 ○著述

彰はる ○彰著 ○彰明 ○顯彰

見はる ○隱見 ○發見

現はる ○出現 ○現象

表はす ○表彰 ○表出

あらふ

洗ふ 水ヲソノギテキヨムコト ○洗<sub>レ</sub>手<sub>ラ</sub> ○洗<sub>レ</sub>心

濯ぐ ○洗濯

あり

有リ 物ノアルコト ○有無

在リ ソノ處ニアルコト在<sub>レ</sub>字<sub>ニ</sub>ヨリト見<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>ニ ○存在 ○死生有<sub>リ</sub>

命 富貴在<sub>レ</sub>天<sub>ニ</sub> (諺語)

い部

いかる

怒る イカリ分見ハルコト ○怒色 ○激怒 ○怒髮 ○喜怒

恚る ヒニイマクシク息ヲト ○瞋恚

愠る ヒミラツトスルコト ○人不知而不愠 (論語)

念る ○忿怒 ○忿怒

いこふ (やすむ)

息ふ 安氣ニマスルコト ○体息 ○安息日

憩ふ 小ヤスミクニスルコト ○休憩

休む 務ラヤムコト ○休暇 ○休戦

いさむ

諫む

其非ヲサシテ示シテ異見スルコト ○諫言 ○直諫

諷す

ヨリテ遠クニ人ヲ異見スルコト ○諷諫 ○諷諭 ○譏諷

○諷議

いだく

抱く

カヘモコト ○懷抱 ○抱負

懐く

不ヨク入ルコト、物ヲ秘藏スルコト、心ヲ思フコト ○懷璧 ○本懐

○述懐

擁く

○擁護

いたむ

悼む

ナカニク思フコト ○悲悼 ○哀悼 ○追悼

痛む

イタミヲ覺テラフコト、ソレヨリ轉ジテ事ヲ切レケルコト

○痛恨 ○悲痛

○痛嘆 ○痛惜 ○痛快

慘む

ムキキ、又カサニキサマラフ ○慘忍 ○慘烈 ○慘憺

疼む

イタミノ始終ヤマコト ○疼痛

傷む

○哀傷 ○悲傷 ○毀傷

いたる

至る

ユキトツコト 又至極ノ義ニ用ユ ○至大 ○至極 ○知至

到る

コトヨリカシヨニイタリ、カシコヨリ此處ニイタコト、 ○到處 ○到著

詣る

○造詣 ○參詣

いつはり (いつはる)

偽り

誠又ハ真ク反対ナリ ○詐偽 ○虚偽 ○偽作 ○偽物

詐り

虚言ヲ吐ク、巧詐、不知カ拙誠、一翰非子

詭り ○詭詐 ○詭計 ○詭巧

寝ぬ ○就寝 ○寢食  
寝ぬ ○假寐 ○寤寢

祝ふ ○祝文 ○祝詞  
行々未ライんコト ○不敬以祝而敢以規 韓文

賀す ○年賀 ○賀狀

曰ふ ○孔子曰 ○詩曰天地之大徳曰生 易経 ○曰仁曰義

云ふ ○孔子曰 ○夏殷以前其詳靡記云 食貨志

謂ふ ○心息所ヲ口ケル ○言論 ○來予與爾言  
○天命之謂性 ○子謂子賤曰 ○謂顔淵曰

戒む ○前ヨリ注意ニテ事ヲ守ラズ事ノ警戒 ○戒心  
○前車覆後車誠 ○漢書

警む ○目ヲサメン驚カス事 ○敬言鐘 ○敬言察

箴む ○心箴 ○規箴 ○箴言

卑し ○尊反對ナリ ○尊卑 ○卑見 ○卑劣  
賤し ○貴反對ナリ ○貴賤 ○貧賤

鄙し ○鄙陋 ○都鄙  
陋し ○固陋 ○陋巷  
う、部

得 矢ハ喪ノ反対ニテ自然ニ手ニ入リテ得失 ○知レ得レ而

獲 故意ニウレテ ○捕獲  
不知レ喪 易經

伺ふ ヒツカニ様子ヲハカレテ ○伺候  
窺ふ シクリコト ○管中ヨリ穴規レ豹ヲ

受く モノウケトコト ○實ニ受ク天福ヲ

承く 彼方ヨリ來ル此方ニ待テウケトコト ○了承 ○承諾  
稟く 天又ハ上ノ命ヲウケトコト ○稟賦 ○稟受 ○稟音  
饗く 享く 此ニ字同義ナリ ○祭則鬼享ク之 孝經  
うごく (うごかす)

動く 静ノ反対ナリ ○動止 ○舉動  
揺く 定ノ反対ナリ ○動揺 ○山岳揺  
蕩く 揺上同義ナリ ○揺蕩 ○震蕩

うしなふ (うす)

失ふ 手ハナスコト ○得失 ○失亡 ○遺失  
喪ふ 見テケルコト ○喪母  
亡ふ 影ニ形モナクヤウニ取リラシナフコト ○滅亡

うつ

撃つ ク、クコト、ヤルコト ○攻撃 ○撃殺

打つ ○打撃 ○殴打

拍つ ○拍手

撲つ ○撲滅

討つ ○征討

伐つ ○斬伐 ○征伐

うつす(うつる)

移す 處ヲカクルコト ○移住 ○移轉

遷す 徙す此ニ字ニ通用ス ○遷移 ○左遷 ○遷謫 ○徙善

寫す モノヲカキウツスコト ○騰寫

摹す 物ノ形ヲ似スルコト ○摹倣

描す 画ヲウフスコト ○描摹

うばふ

奪ふ ウリミルコト ○強奪 ○予奪 ○奪取

篡ふ 下ヨリ上ノモノヲウバヒルコト ○篡賊 ○篡殺

褫ふ トリアゲルコト ○褫奪 ○褫位

うらむ

怨む 人ノウラミ又アゲトス ○恩怨 ○私怨

恨む 怨ム義ニ近シ ○悵恨 ○遺恨

憾む 口惜シク思フコト ○遺憾

うるは

美はし 立派ナルコト悪又醜ニ対ス ○美服 ○美俗

○美味 ○美德 ○美名

麗はし ○美麗

妍ケン 〇妍麗 〇妖妍 〇妍美 〇爭妍  
艷エン 〇華艷 〇艷麗

うるほふ(うるほひ)

濕シツ 〇水就シツ 〇濕潤

潤ジュン 〇温潤 〇潤澤

霑セン 〇霑染 〇霑被

うれふ(うれひ)

憂ユウ 〇憂國 〇内憂 〇居憂

患エン 〇外患 〇憂患

愁シュ 〇旅愁 〇客愁

えゝ部

えゝぶ

選セン 〇文選 〇選舉 〇選擇 〇唐詩選  
撰セン 〇撰者 〇撰述  
擇タク 〇擇言 〇擇行

おゝ部

おくる

送ソウ 〇送別 〇目送 〇運送

〇送達

贈ソウ 〇贈言 〇贈與

おこたる

怠タイ 〇怠惰 〇怠慢

懈ケイ 〇懈怠

〇懈怠



おこる(おこす)

興オコリタフコト ○興廢 ○奮興 ○勃興  
起オキアガルコト ○蹴起 ○興起 ○蜂起

おごる

奢儉ニ反対シテ華美ヲ好ムコト ○奢侈 ○國奢則示シ  
之ニ以テ儉ヲ 禮記

驕る

謙ニ反対シテ高ブルコト ○驕傲 ○驕奢 ○驕慢  
○富ニ而無シ驕ル 論語

傲る

人ヲ輕スルコト ○傲世 ○傲慢不遜

おす

押上ヨリオシツクルコト ○押壓  
推下キアラオレルコト ○推門 ○推考

おそる(おそれ)

壓カマシテオシツクルコト ○壓力 ○壓制 ○鎮壓

恐る

心ニキヅクコト ○恐懼 ○恐怖 ○恐惶 ○惴恐

畏る

オソルコト甚シキヲ云フ ○畏敬 ○畏服

懼る

○亂臣賊子懼ル 孟子

おつ(おとす)

落物ノ上ヨリオフルコト ○落葉 ○花落 ○落第

隕高キ所ヨリオフルヲ云フ

○星隕如雨 ○隕ニ于深渊

墜此ニ字ハ落ノ字義近シ

○墜ニ車馬船ナドヨリ オフルニ

おどろく(おどろかす)

驚ビックリスルコト ○驚嘆 ○喫ス一驚ヲ

愕く 驚愕ノ字ヨリ重シ ○驚愕  
駭く ○驚駭

おふ 追ふ アトヨリオビクルコト ○追跡 ○追従 ○追懐  
逐ふ オビハラコト、オビスルコト ○放逐 ○逐水草而居

おほふ 覆ふ 上ヨリカフセカクルコト ○覆載 ○天無私覆フコト 礼記  
蓋ふ フタラスルコト ○カ拔キ山ラ今ラ氣ヲ蓋レ世ヲ 史記

おほむね 掩ふ オホヒカフスコト ○隱蔽 ○一言以テ蔽ラ之ヲ 論語  
サキリカリコト ○掩護 ○掩ラ其ノ不善而著其ノ善ヲ  
大學

おほむね

概 概略 オレナラシテト云フコト ○梗概 ○概略

おもふ 率 率由 ナラシテミツメル意ナリ ○率ネ常ニ在リ下杜 宣帝記  
顧ふ ○回顧 ○顧慮

思ふ 工夫思案スルコト ○再思 ○三思 ○慎思  
想ふ オモヒミツスコト ○想像 ○思想 ○想慕

懐ふ ○懷舊 ○胸懐 ○襟懐  
惟ふ タニ筋ニオモウコト ○思惟 ○伏ニ惟フ ○恭ニ惟フ

おもむく 赴く 其ノトヨビ行キカクルコト ○赴任

趨く 趣く 此ノ二字同義ナリ、何レナリトモ一筋所ヲ心カケテ  
走りテリナトニ用エ、又心ノオモヒキヲ云フ ○趨走 ○志趣

幽趣 ○雅趣

かノ部

からばし (かぶはし)

香ばし、馨香ばし  
カヲリノヨキコト  
○馨香香  
芳ばし  
○春芳  
○衆芳  
○餘芳

かかぶ

掲ぐ 高ヤ所ニカケルコト  
○掲載  
○揭示  
褰ぐ 褰<sup>ツ</sup>帷<sup>ラ</sup>  
○褰<sup>ツ</sup>裳

かがやく (かかやく)

輝く  
耀く 輝<sup>ク</sup>ルコト  
○光耀  
○耀耀  
曜く 日<sup>ノ</sup>等<sup>ノ</sup>盛大<sup>ナル</sup>コト  
○曜靈  
煥く 日光<sup>ヲ</sup>云フ  
○煥乎  
○明煥

かく (かゝる)

掛く ヒキケルコト又ハヒキカルコト  
○掛物  
○掛<sup>ニ</sup>網羅<sup>ニ</sup>  
懸く ツリケルコト又ツナヤト云ルコト  
○懸命  
○懸軍萬里  
係る 關係

かくる (かゝす)

隠る 顯<sup>ノ</sup>反對<sup>シ</sup>テアハラユコト  
○隱道  
○隱居  
○隱微  
竄す コ<sup>ノ</sup>カシ<sup>ヲ</sup>逃<sup>ゲ</sup>マハリケルコト  
○遁竄  
匿す ツ<sup>ニ</sup>カスコト  
○匿名

かた (かたむ)

堅し 脆<sup>ノ</sup>反對<sup>ナリ</sup>  
○堅強  
○堅牢  
○堅固  
○中堅  
固し ヌ<sup>レ</sup>ガユコト  
○堅固  
○金城固<sup>カ</sup>  
硬し 軟<sup>ノ</sup>反對<sup>シ</sup>テシ<sup>ン</sup>コト  
○硬骨

かつ

勝つ 負々対ナリ ○勝利 ○勝負 ○百戰百勝

克つ 勝々難々勝々ヲキフ ○克つ己 ○克つ其城

捷つ 軍ニカフエト ○戰捷 ○捷書

かなむ

悲む 心ニイタラコト ○慈悲 ○悲喜

哀む 心ニ深クイタラフ ○悲哀 ○哀樂 ○哀痛

かなふ

適ふ 宜キヲ得タルコト ○適當 ○適合

稱ふ ツリアフコト ○名稱 ○實

協ふ 和合スルコト ○協同 ○協力

かはる (かふ)

變はる

常々反對ニシテウツリカハルコト ○世變 ○時變 ○變易 ○變改

代はる 他ノモノニカハルコト ○代人 ○代理

易ふ 一物ノ變ハルコトニモ物ト物トウトリカハルコトニモ用エ ○變易

更ふ ○更易 ○貿易 ○交易 ○變更 ○更代

替ふ ○交替 ○為替 ○隆替

換ふ ○交換

かへりみる

顧る フリカヘリテ後ヲ見ルコト ○左顧 ○眷顧 ○思顧

省る 見廻リテ歩ク又心中見廻ルコト ○省察 ○自省 ○反省 ○檢省 ○省識

眇す 横目ラツカフコト ○顧眇

かへる (かへす)

歸る 出アタル所へタケルコト ○歸宿 ○歸國 ○歸朝

還る 同ジ道ヲカヘルコト ○往還

廻る マリモトルコト ○迂廻

復る ○往復

かんがふ

考ふ オモヒハカルコト ○考古 ○思考

按ず 胸ニチラアテ、トクト考フルコト ○按出

かわく (かわかす)

乾く 濕ノ反対ニシテ、シマリケケルコト ○乾燥 ○乾物

燥く 潤ノ反対ナリ ○高燥

き、部

きく (きこゆ)

聽く キカント思ヒテキクコト ○謹聽 ○傍聽 ○聽雨

聞く 先聲ノ耳ニ入ルコト又自ラ聞レルコト ○見聞 ○令聞 ○聞達

きざ

創 切りキズノコト ○創傷

疵 アカノ如キキズヲ云フ ○小疵

傷 ケガレト ○負傷

瑕 モチマノキズ ○瑕瑾 ○疵瑕

きはむ (きはまる)

極む 至極ノ義ナリ ○極致 ○至極 ○極知

窮む ○窮理 ○窮通 ○窮達

究む 終りて尋ね置る意りの究竟の研究  
きよし(きよむ)

清し 濁り反対ニ水ノ云コト 〇水清し 〇清風 〇清潔

淨し 穢れ反対ニ清キナルコト 〇清淨

潔し 〇高潔 〇潔白 〇純潔

きる

切る アキラキヤキヤコト 〇切斷

斬る キリハナスコト 〇斬殺 〇斬罪

伐る タキキルコト 〇伐木

翦る ハサミキルコト 〇翦彩花 〇勿剪<sub>コト</sub>

くノ部

くだく

砕く 細キ破ルコト 〇破碎 〇零碎

摧く 竹木又ハ器具ナドクタクキヒレガコト 〇破摧 〇摧折 〇摧損

くつがへる (くつがへす)

覆る ヒツクリカルコト 〇顛覆 〇反覆

顛す サカミ倒ルコト 〇顛倒

くづる

崩る 高キ山岳ナドクブンオタルコト 〇崩壊

壊る 凡テ物ノソコイクルコト 〇破壊 〇壊亂 〇敗壊

頽る 下墜ス義アリ 〇敗頽 〇傾頽

くばる

配る 相當ニワリアラフコト 〇配合 〇分配 〇配達

賦す 〇賦税 〇賦課

くむ

汲む

水ヲ汲ムコト

○汲水

○汲々

酌む

酒ヲ斟ムコト

○獨酌

掬む

兩手ヲ以テスクヒトコト

○掬水

斟む

ウマハスコト

○斟酌

くらふ(くふ)

食ふ

モウクフコト

○飲食

○食堂

○食録

喫す

○喫煙

○喫茶

くる(くむ)

苦しむ

辛苦ノ義ナリ ○艱苦 ○苦心 ○千辛萬苦

困しむ

ナキスルコト ○貧困 ○困窮 ○困乏 ○困難 ○困倦

け、部

げがる(けがす)

汚る

ケカルコト

○汚穢

瀆す

心ヲ過ギテ無禮ニ流ルコト

○褻瀆

○冒瀆

こ、部

こたふ

答ふ

先ノ言ヲコトシ受ケテコタヘラスルコト ○問答 ○返答 ○答案

對ふ

人ノ問ニコトシテコトスルコト

○應對

應ふ

○應接 ○應答

ことごとく

盡く

ノコラスノ義ナリ ○盡滅

悉く

事ヲキハナワクスノ義ナリ ○悉皆

ことに(ことなり)

殊に キレケレト云フコト ○殊美ナリ

特に トウケテ人ズルニ義ナリ ○特別 ○特許 ○奇特 ○特立 ○獨行

異なり ○異時 ○異日 ○異域

こゝろがふ

希ふ 事物ノテキルヤウニネカヒノケルコト ○希望

冀ふ ネカフ辞ニシテ希ノ字ト通用ス ○仰冀

尚ふ 庶幾ふ 此ニ字何レモ「ナト」ガ「コト」ガ「ノ」義ナリ

こふ

請ふ コトヲ以テネガヒモトル意ニテサキノ様子ヲウケヒ問フ意ヲ含ナリ

○請求 ○請願 ○申請

乞ふ コトモトルコト ○乞フ ○乞正 ○乞食

こゆ(こす)

越ゆ 踰ゆ 此ニ字同義ニテ「フ」ニ「ト」ニ「ル」ニ意ナリ ○越職 ○越俎

○超越 ○僭越 ○踰牆

超ゆ ○超然 ○超格 ○超等

これ

此れ 是れ 此ニ字「イツ」モ「コレ」コ「ノ」コ「ハ」又「カ」ト訓ス

此ハ指ス所切ナルモ「是」ハ指ス所汎クニテ輕シ

斯れ 此ハト畧ニ同義ナリ ○斯道 ○斯人也 而有斯疾

也 論語

之れ 上文以下ニル事項ノ代名詞ナリ漢文ニ音調ヲヨクシテ為シ

助辭トシテ用フルコトアリ ○天命之 謂性

維れ ○維時

ころす



殺す イノチヲヒキト ○殺戮 ○殺伐 ○自殺  
誅す 罪アルモノヲ殺スコト ○誅伐 ○誅殺  
戮す ミセシメニコロスコト ○誅戮  
弒す 尊長ノ人ヲ殺スコト ○弒逆

さ、部

さかふ

逆ふ 順ノ反対ナリ ○順逆 ○横逆 ○大逆無道  
忤ふ 心ニサカフコト ○忤其衆以代有道 礼記

さかんなり

盛んなり 衰ノ反対ニサカリ最中、頂上、所ナリ ○盛大 ○盛衰  
壯んなり モツコキコト ○雄壯 ○壯健 ○壯勇 ○老益壯 ○壯丁  
昌んなり ○繁昌

隆んなり ○隆盛 ○隆興  
熾んなり ○炎熾 ○熾盛 ○昌熾 ○熾隆

さく

裂衣ヒキサクコト ○分裂 ○開裂 ○四分五裂  
割く キリトスコト ○割據 ○割取 ○割腹  
劈く 斧ニテウケルコト ○劈薪 ○劈山  
剖く 割キワケルコト ○解剖 ○剖竹木 ○剖腹出腸

さぐる(さがす)

探る サキ様子知レヌモノヲ伺ヒ探ルコト ○探湯 ○探虎 ○探偵  
捜す アリタルモノニエヌヲサガリホルコト ○捜索

さしはさむ

挟む コウキニカイコムコト、老リ轉ジテ物事ヲ頼ミスルコト ○挾書 ○不挾貴

挿む サレユコト ○插花

定む 事ノ定トテオチリコト ○決定 ○確定 ○定論 ○未定

莫む 定ト同義ナリ ○奠都

決す ○決斷

さとする (さとし)

覺る、悟る 此字何モ眼ノサレ義ヨリ轉ビテ合トスルコト

○覺悟 ○知覺 ○頽確

曉る ○通曉 ○曉文義

諭す ○教諭而德成也 礼記

さむ (さます)

覺む (目ノサレコト) ○三皇之事如夢如覺 列子

醒む 酒ノサレコト ○衆人皆醉我獨醒 楚辭

さる

去る 來ニ対ナリ ○去年 ○去月 ○薨去 ○死去

違ふ ハレコト ○忠恕道道不遠 中庸

距る ○距離

さわぐ (さわがす)

騒ぐ イリガハリ乱ニ意ナリ ○騒動 ○騒然 ○騒亂

躁ぐ 静ニ対ミテ急動ニ義ナリ ○躁急 ○浮躁 ○輕躁

噪ぐ 鳥ノカケテ声鳴クコト ○羣噪 ○亂噪 ○蟬噪

諫ぐ 人が舌々ニヤカクシテウケルコト ○喧諫 ○闇諫 ○鼓諫

し、部

しきりに

頻に

「オヒカケオヒカケ」ノ意ニテセシリト云フ群語也。頻繁。頻年

連に

「アツケテト云フ」意ナリ。連年。連有。災異

切に

「シミジミト云フ程」意ナリ。切思。剴切。親切

○切迫 ○切要 ○激切

したがふ

従ふ

遠ニ対ミテ「タハヌ」ト ○服従 ○適従 ○侍従

○雲從龍

随ふ

從義ニ近シ「マシ」ト云ル詞ハ「キ」字ニヨリ合フナリ

○隨行 ○隨意 ○追隨

循ふ

「モノ」ニテ「フ」ト ○循環 ○因循 ○循法度

遵ふ

率ニ「ハ」ニ字循ト同義ナリ。遵守。遵奉。率祖訓

順ふ

○順逆 ○柔順 ○和順 ○孝順 ○遜順 ○順風

○温順

したふ

慕ふ

「ハレ」ガ「タリ」思フト ○愛慕 ○思慕 ○羨慕 ○景慕

○欽慕

「タラシ」思ヒテ「レ」ト云フト ○欽仰 ○欽英風

○戀々

しづか

静か

動ニ對シテ「シ」テ動カヌ事。躁ニ對シテ「シ」テ動カヌ事。沈靜。閑靜

○靜觀 ○靜坐

徐か

疾ニ對シテ「ス」ルヤ「ス」ト ○徐步 ○徐言

閑か

忙ニ對シテ「リ」 ○清閑 ○閑散 ○閑地 ○閑日月

飲か 迫<sup>ス</sup>及<sup>テ</sup>対<sup>シ</sup>テ<sup>ノ</sup>ガ<sup>ル</sup>意<sup>ナリ</sup> ○用<sup>ス</sup>之<sup>者</sup>飲<sup>ム</sup> 大學  
寂か ○寂然 ○寂寞 ○閑寂 ○寂寥

暫く 久<sup>ク</sup>及<sup>テ</sup>対<sup>シ</sup>テ<sup>ノ</sup>ガ<sup>ル</sup>意<sup>ナリ</sup>但<sup>シ</sup>車<sup>ノ</sup>上<sup>ニ</sup>テ<sup>云</sup>フ<sup>ニ</sup>ハ<sup>ス</sup>時<sup>ノ</sup>上<sup>ニ</sup>

○暫時

姑く 車<sup>ノ</sup>上<sup>ニ</sup>テ<sup>マ</sup>ア<sup>ク</sup>香<sup>ツ</sup>ト<sup>ト</sup>言<sup>フ</sup>コト ○姑息 ○姑舍<sup>ケ</sup>之<sup>ヲ</sup> 孟子  
且く 姑<sup>ト</sup>同意<sup>ナリ</sup> ○苟且

しりぞく

退く アトヘサガルコト ○進退

却く ○退却 ○且<sup>ツ</sup>戰<sup>ト</sup>其<sup>ツ</sup>却<sup>ク</sup>

斥く ○排斥 ○斥逐 ○屏斥

黜く 官位<sup>ヲ</sup>賤<sup>シ</sup>下<sup>ガ</sup>ル<sup>コト</sup> ○黜陟

擯く ○擯斥

知る 識る、此ニ字ハ大抵通用スレドモ差別ナ 知<sup>ル</sup>人<sup>ヲ</sup>知<sup>ル</sup>己<sup>ヲ</sup>ハ比<sup>自</sup>深<sup>ク</sup>  
ク知<sup>コト</sup>ナ<sup>ド</sup>モ識<sup>ル</sup>名<sup>ヲ</sup>識<sup>ル</sup>面<sup>ヲ</sup>ハ見<sup>知</sup>ル<sup>コト</sup>ナ<sup>リ</sup>故<sup>ニ</sup>識<sup>ト</sup>方<sup>ハ</sup>知<sup>コト</sup>ナ<sup>リ</sup>ハ

○知己 ○識<sup>ル</sup>其<sup>ヲ</sup>而<sup>テ</sup>不<sup>レ</sup>知<sup>ラ</sup>其<sup>ニ</sup> 莊子

しるす 記す 書キトルコト ○書記 ○筆記

誌す 識す、姓名又ハ自製<sup>ノ</sup>文章<sup>ヲ</sup>ア<sup>ド</sup>カキ<sup>ル</sup>コト ○某誌

録す 書キテラフコト ○記録

す、部

すくな

少<sup>ク</sup>多<sup>ク</sup> ○多少

寡なし ○衆寡

鮮なし ○鮮少

鮮なし 鮮白ジ ○不鮮

すくふ

救ふ タスケケル意ナリ ○救済

濟ふ コエカスル處ヲユサスル意アリ ○普濟 ○濟度 ○濟古

援ふ 引キ寄セテ救フコト ○援之ヲ ○援助

すゝむ

勸む 人ニ斯クセヨ斯クスベシトモウシウチカスコト ○勸善 ○勸告

勸學 ○勸進

進む 前方(出ヅル)コトナリ ○進退 ○後進 ○先進

薦む 今物ヲ進上スルコト又人ヲスシメテノコト ○推薦 ○薦擧

○貢薦

羞む オモヒ食物ヲスルコト用エ ○羞レ之ヲ

すつ(オタる)

捨つ トリ上ゲヌコト、カマシヌコト、漏聲ナドニナゲヌコト、意ニニアラズ ○取捨

棄つ 用ニクヌモノトシテステキリウケヤルコト ○放棄 ○廢棄 ○棄權

自暴自棄

撤つ トリノクルコト ○撤去 ○撤同

廢つ ステモノニシテオクコト ○廢物

す下に

既に、己に 此ニ字ニ就テ、既に將ノ及対ミテ、事ノ全ク終リハテ、

上ニアガリ用ケル、己ハ未ダノ及対ミテ、其事ノ終ニカク終ラカハ、間ニ  
言ハス辞ナレ、既に字ニ比スル、其ノ義輕シ、例ハ、トクニ何ト

イフトフイタ何々トシフトノ差別アガ如シ百里ノ距離ニテ言ハ  
百里皆行キルハ既ナリ一二里行キカリルハ已ナリト心得ベシ  
○不待相見相見已熟既相見不要約已相  
親 韓文

すなはち

諫

即ち

上ラウケ下ヨリケル辞ニテ「トキハトキハ」トキニモ「コトハ」等々意ニ用ヒ

則ち

其所アリノ弟子入 則孝出 則弟 論語

即ち

即今ノ義ニテ其場ヲ距レテ義アリ俗語ニテ「トキ」トキニ「ナト云」ルニ  
當リ皆ソノ處ニ「キ」テスキア「ナキ」辞ナリ ○徐行即免死

疾行則及禍

乃ち

迺ち、此ニ字同字ナリ之ニ上ラ「言」終リ、サテ其次ノ言ヒ出スキ  
ニ上ラ「目」置「字」ハ隨テ其義輕シ「コト」ハ譯「見」ベシ

輒ち

「ソノタビゴト」又ハ「タヤスキ」意ナリ

便ち

「都合ニテ」ノ意ナリ

すみやか

速やか

ヒマラヌコトノ遅速ノ神速ノ早速ノ早速ノ速度

急

○危急ノ緩急

すむ

住む

ト「マリス」マウコト ○住居

誤 敷む

罪過ノ次第ヲ

棲む

カリニスマウコト ○鳥棲木

セノ部

せま

狭し

寛濶廣博ノ反対ニテ其義廣シ ○狹隘

隘し  
モノ、間ノセマキコト又ハ度量ノセマキコトノ伯夷ハ隘シ  
褊し  
衣服身ハハノセマキコトヲ云フ、サレバ地形ハ心性ノ器量ノトモ用之ノ褊小

せまる

遍る  
コトカクフヲヨスルコトノ遍ル真

薄る  
暈ト同義ナリノ薄暮ノ日薄ル西

迫る  
急ナリ意アリセシキ意ナリノ逼迫ノ急迫ノ卒迫  
○切迫 ○飢寒迫

せむ

攻む  
城ヲセメウラフコト、ソレヲ轉ジテ心性ノ上ニ用之ノ攻城ノ自ラ攻

其惡

責む  
セトカクコトノ刻責ノ言責ノ責任

讀む  
コトノ上ニテヤビシクシカトカムルコトノ讀責

讓む  
事子細ヲ問ヒ答ヒテ答ルコトノ責讓ノ公使ノ讓メ之リ  
數む  
罪過ノ次第ヲカクシテ答ルコトノ使吏ノ數メ之リ

そこなふ

そ、部

害ふ  
元来利ヲ討ミテ總シテ人ヲ害シテ禍ニシラトソレヲ轉ジテモカトシ

ソコトヤルニ用ユ、○利害 ○害成

傷ふ  
キツラクシラコトノ負傷ノ寒傷ノ傷暑

賊ふ  
○賊人の子  
○損害 ○損耗 ○損失

そしる

誹る  
人ヲ非ラサレシムルコトノ誹謗

謗る  
人身ノ上ニ就テ悪シク評判スルコトノ讒謗 ○誹謗 ○詭謗 ○誣謗

譏る 人ニカタル惡シキヲ見出ダシテソシテ笑フコトノ譏刺ノ誹譏  
毀る 針ホトリコトヲ棒ホトリ云ヒテ人ヲソコナフコトノ毀譽  
短る 人ノ智慧ノタケハカリテソシテ下ノ短屈原於頃襄王史記

注る 水ヲマヤコムコトノ流注 〇貫注

濺る 水ヲカクニコトノ濺沫

洒る 水ヲウツスコトノ洒掃 〇洒掃 〇如湯沃雪

灌る 水ヲ流シ込ムコトノ百川灌河 〇灌漑

そなふ 備ふ 物ノ數ニテ餘ラズ支度スルコトノ具備 〇完備 〇武備 〇備邊

供ふ 〇供養 〇供物 〇供給  
具ふ 〇禮樂具  
饌す 膳カテスルコト 〇有酒食先生饌 論語

そげだつ 敬つ カタアカリニテニコト 〇白日敬 〇帶雨敬

峙つ 山ノ屹立スルコト 〇對峙  
側つ 正面ヨリ見ヌ、ワキヨリ見タル貌ナリノ反側 〇寢不側

そふ 添ふ 少シカマシ加フルコト 〇添削 〇添書

副ふ 〇副貳 〇儲副 〇儲貳 〇名實不副

傍ふ 〇沙上鳥雛傍母眠 杜詩



そむく

背く フリスルコト ○背、師保之訓

叛く ウチハルコト ○叛亂 ○叛逆

乖く 物ニケカラヒタカウコト ○乖離 ○乖、先王之訓

それ

夫れ 文意ヲ奇語ニ用ニ又指ス所アリテ用ニ時アリ ○夫、天地

其れ 萬物之逆旅 聖園序 ○夫、我及行之ヲ孟子

指ス所アリテ用ニ ○君子謂文公其能刑矣三、四非

而民服 左傳

厥れ 其古字ナリ ○三人並行ケル厥レ有ニ我師 史記

たノ部

たがひに

互に モリイリチガウコト ○交互 ○参互

遞に モト飛脚ヲ出ルル字ニ物ヲ送ニ義アリ、代リテ受ケル意アリ ○遞

報 ○遞送

たがふ かりアコト ○更迭

たがふ

差ふ クロヒケコト ○過差 ○差違 ○参差

違ふ クガヒテ離シキルコト ○違背 ○違犯 ○心事違

たくはふ

貯ふ 入用タケラカヒ置リコト ○貯粟 ○積貯

蓄ふ トリアテオサメオクコト ○蓄田積 ○貯蓄 ○原蓄不<sub>ト</sub>乏

儲ふ 用意ニタリハヘオクコト ○倉儲 ○乏<sub>シ</sub>儋石之儲<sub>漢書</sub>

たけなは

酣 酒宴、最中、善り轉じて物事、盛つて用之、興酣、○戰酣、  
闌 ○宴闌、○酒闌、○興闌、

たすく

助く ○助力 ○球助  
援く ○後援 ○援兵 ○搜溺

則援之、以手、孟、子

祐く ○天祐

佐く ○輔佐 ○良佐 ○以、王、邦國、周禮

輔く ○輔弼 ○輔弼

扶く ○扶持 ○顛而不扶

資く ○資力

たす

唯 獨り、義、た、バカリト譯ス、唯天爲大、論語 ○其唯  
聖人乎、易經

惟 唯、字、同、バカリト譯シテ見ル、  
俗語、バカリト云ル、義、用、然、バカリト訓ス、時、バカリト云

但 但、氏、之、バカリト引キ、分、ケ、テ、言フ、詞、也、○但見 ○但欲直遂、柳文

只 何、意、モ、キ、助、語、ニ、用フル、ト、多シ、○只分 ○只想 ○只獨、眼

徒 徒法、○徒爲

曹 一字、ニ、用、テ、事、稀、リ、常、不、盡、何、意、ナド、打、消、又、疑、問、語、  
ヲ、添、フ

たすから

戦ふ 両方よりウチタ、カウコト、○挑戦 ○合戦 ○連戦 ○力

戰の搏戰

闘ふ 勝ラキコト ○牛闘 ○争闘 ○格闘 ○西虎闘  
○血氣方剛戒之在闘 論語

たはく

叩く

音ノスニ様叩クコト ○叩門 ○叩首  
打チタクコトミテ叩キヨリ強ク ○敲解 ○敲石 ○敲人の敲  
鐘

たはす

正す

ト眞直ニ引キテホスコト ○改正 ○心正筆正

訂す

○訂正 ○校訂

糾す

モウ吟味スコト ○糾問 ○繩愆糾謬

匡す

救ヒ正スコト ○匡正 ○匡天下 ○匡救其悪

規す

法ヲ以テ人ヲ正スコト ○規諫 ○規箴

質す

○質問 ○質疑

忽ち

チウクトスル意ナリ形上ニテ云フ詞ニ捕促スルヲ端緒ナキ義

ナリ ○忽焉 ○時風雨忽至 王祥傳

倏ち

忽ノ字ヨリ輕シツレナガラト云ルニマアケル ○燈將滅而乍

明 淮南子

乍ち

○倏忽

たつ

立つ

此ノ字用方ヒ止休ノ字ニ対スル詞ニテタチテオレモ ○鼎立 ○

中立 ○孤立 ○獨立

起つ

坐リ身ヲ起シテ立つコト ○起立 ○起居 ○起臥

建つ

オシタツルコト ○建國 ○建屋

たづぬ

尋ぬ

引續<sup>ヒ</sup>テ其<sup>ノ</sup>筋<sup>ヨリ</sup>尋<sup>ネ</sup>ルコト ○尋求 ○尋問 ○尋  
釋

原ぬ

物<sup>ノ</sup>根源<sup>ヲ</sup>オレ<sup>ル</sup>尋<sup>ネ</sup>ルコト ○原始<sup>ヲ</sup>要<sup>ス</sup>終<sup>ヲ</sup> 周易

討ぬ

探<sup>リ</sup>尋<sup>ス</sup>ル義<sup>ニ</sup>テ尋<sup>ノ</sup>字<sup>ヲ</sup>重<sup>シ</sup> 尋討<sup>ヲ</sup>福<sup>ヲ</sup>

踪ぬ

後<sup>ヲ</sup>シテヒラ<sup>キ</sup>尋<sup>ス</sup>ルコト ○踪跡

たとひ(たとへば)

假令

假<sup>定</sup>を<sup>意</sup>ニ<sup>テ</sup> ○假令<sup>晏</sup>子<sup>而</sup>在<sup>余</sup>雖<sup>爲</sup>之<sup>也</sup>

執<sup>ト</sup>鞭<sup>ヲ</sup>所<sup>ヲ</sup>折<sup>ス</sup>慕<sup>ス</sup> 晏子傳

譬へば

或<sup>事</sup>柄<sup>ニ</sup>類<sup>似</sup>スルコト<sup>ヲ</sup>假<sup>リ</sup>ニ<sup>作</sup>リ<sup>設</sup>ケ<sup>テ</sup>話<sup>ス</sup>事<sup>ナ</sup>リ  
○能<sup>近</sup>取<sup>リ</sup>譬<sup>言</sup>論<sup>語</sup>

喩へば

譬<sup>ト</sup>同<sup>義</sup>ナリ ○譬喩

例へば

多<sup>數</sup>事<sup>實</sup>中<sup>ニ</sup>テ其<sup>一</sup>例<sup>ヲ</sup>採<sup>リ</sup>或<sup>ニ</sup>類<sup>似</sup>事<sup>ヲ</sup>譬<sup>ケ</sup>テ<sup>説</sup>キ<sup>示</sup>ス  
○例題 ○例話

たのまむ

樂しむ

苦<sup>ク</sup>交<sup>對</sup>シ<sup>テ</sup>心<sup>ニ</sup>オ<sup>モ</sup>セ<sup>ル</sup>感<sup>ズ</sup>ルコト ○行樂 ○後<sup>ニ</sup>天

下<sup>之</sup>樂<sup>而</sup>樂<sup>シ</sup> 岳陽樓記

娛しむ

お<sup>チ</sup>カ<sup>サ</sup>ム<sup>レ</sup>憂<sup>ヲ</sup>散<sup>ル</sup>コト ○娛樂 ○鼓瑟足<sup>リ</sup>以<sup>テ</sup>

自<sup>ラ</sup>娛<sup>ル</sup> 莊子

嬉しむ

○嬉戲 ○兒嬉 ○羣嬉 ○遊嬉 ○嬉々

たのむ

頼む

タ<sup>ヨ</sup>リ<sup>ス</sup>ニ<sup>義</sup>ナリ ○依頼

恃む

心<sup>ガ</sup>タ<sup>ヨ</sup>リ<sup>ス</sup>ニ<sup>ト</sup> ○買恃 ○憑恃 ○倚恃 ○恃

怙の門地高不足持の恃德者昌持力者  
亡史記

負む ウレカヨリミル意の負貴而好權 史記

たふ

堪ふ コエテナレハル下辛抱出來レテの不堪愁の其何堪之

耐ふ モチヨク下 〇耐忍 〇不耐煩

任ふ カノツク下 〇堪任 〇病不任行

勝ふ モミウケカミ意アリ 〇不勝其任

たふとし(たふとぶ)

尊し 身ヲ対ナリ 〇尊敬 〇至尊 〇尊徳性

貴し 賤ノ反対ニテ位ノ高キ下 〇貴賤 〇貴金玉

尚ふ 大切ニト下 〇高尚 〇尊師尚道

崇ぶ アガメウヤマウコト 〇崇拜 〇崇敬

たふる(たふす)

倒る ノケサマニタフルコト 〇絶倒 〇轉倒

斃る ウチタフルコト 死スルコト 〇斃而後已

仆る 横ニテト 〇僵仆 〇詐り有仆臥地

たまたま

偶々 思ヒヨラズフトアリタルコト 〇偶然 〇偶有金十斤

會々 ヲケレモ「ヲリカシ」義ニテ出會フ意アリ 〇會雨阻不赴

適々 ユキアウ意アリ 〇適會山林多々 〇周本紀

たまふ

賜ふ 錫ふ 此二字同義ナリ 褒賞ニテマウテ 〇恩賜 〇錫命

給ふ アエカシ又敬語用エ 〇供給 〇支給 〇月給 〇俸給

位に即之給ふ  
ち、部

ちかふ

誓ふ

盟ふ

矢ふ

つ、部

つかさどる

掌る

司る

典る

つかふ

言葉ヲ以テ約束スルノ作<sub>レ</sub>誓言<sub>ヲ</sub> ○ 誓言言<sub>フ</sub> ○ 誓言言<sub>フ</sub> ○ 誓言<sub>ヲ</sub> 軍旅

神<sub>ニ</sub>チカウコト ○ 會盟 ○ 背<sub>レ</sub>盟<sub>ニ</sub>不祥<sub>ナリ</sub>

○ 永矢弗<sub>レ</sub>護<sub>レ</sub>

其持分ヲトリア<sub>レ</sub>カウコト

○ 掌<sub>レ</sub>務 ○ 鞅<sub>レ</sub>掌 ○ 掌<sub>レ</sub>之<sub>ヲ</sub>

支配スルコト ○ 司令官 ○ 典<sub>レ</sub>司<sub>ス</sub>五象<sub>ヲ</sub>

モゴトノキリモリヲスルコト ○ 典<sub>レ</sub>職<sub>ヲ</sub>

使ふ

事ふ

仕ふ

つかる

疲る

羸る

つく

突く

衝く

撞く

擣つ

つく

指圖スルコト ○ 指<sub>レ</sub>使<sub>フ</sub> ○ 使<sub>レ</sub>役

カレヅクコト又目上人<sub>ノ</sub>用向<sub>ラ</sub>ツトスルコト ○ 事<sub>レ</sub>君 ○ 事<sub>レ</sub>父母

主人<sub>ニ</sub>奉<sub>ル</sub>スルコト ○ 給<sub>レ</sub>仕 ○ 奉<sub>レ</sub>仕

身体<sub>ノ</sub>草臥<sub>ル</sub>コトモ精神<sub>ノ</sub>衰<sub>レ</sub>弱<sub>ニ</sub>用<sub>フ</sub>之<sub>ヲ</sub> 疲<sub>レ</sub>勞

ヤセオトロルコト ○ 羸<sub>レ</sub>弱 ○ 羸<sub>レ</sub>細 ○ 清<sub>レ</sub>羸

フトツキアスルコト ○ 突<sub>レ</sub>擊<sub>フ</sub> ○ 突<sub>レ</sub>出

正面<sub>ニ</sub>ツキアスルコト ○ 衝<sub>レ</sub>突 ○ 宅<sub>ニ</sub>在<sub>リ</sub>大路<sub>ノ</sub>之<sub>ヲ</sub> 衝<sub>ク</sub>

打ち<sub>ア</sub>に<sub>テ</sub>不<sub>レ</sub>故<sub>ニ</sub>鐘<sub>ヲ</sub>ラ<sub>ク</sub>イ<sub>テ</sub>等<sub>ニ</sub>用<sub>フ</sub>之<sub>ヲ</sub> ○ 如<sub>ク</sub>鐘<sub>ノ</sub>撞<sub>ク</sub>

白<sub>ニ</sub>テ<sub>ツ</sub>ク<sub>ル</sub>コト ○ 擣<sub>レ</sub>砧<sub>ヲ</sub>

就く  
ソノコトヲ近ク意アリ○去就○就此可知○就

之知日望之如雲史記

附く  
ツキタガウテ○附屬○隨附

即く  
○即位

つぐ  
繼ぐ  
絶エタルヲギアトラカコト○繼母○繼室○後繼

繼子○繼承  
斷ク又対ニワリコト○繼續○繼統

嗣ぐ  
家ヲウケコト○嗣子

サレバウコト○次ク之ニ○次第

次ぐ  
ツキアラコト○接繼○接花○隣接○接

接ぐ  
近○接紙

つくす  
アガケキルコト○盡心○盡瘁○盡力

竭す  
盡ト同義ナリ○竭其力

ノコトトリタルコト○殫精

殫す  
一石ノコサエト○知悉

ノコトヲ殺スコト○殲滅

つくる  
つゝる  
殲す

作る  
コレニ心ムコト○造作○作文○作為

造る  
コレヲタフルコト○創造○製造

製る  
○製藥

つゝしむ

慎む  
モラ粗畧ニセヌコト○慎思○謹慎○慎獨

謹む  
欽む

○恭謹

畏敬<sup>シテ</sup>之<sup>コト</sup>又天皇ノ御上ラ云フ<sup>トキ</sup>用エ<sup>ル</sup>○欽明○欽<sup>ミ</sup>  
若<sup>シ</sup>是<sup>レ</sup>天<sup>ノ</sup>書<sup>ノ</sup>終<sup>ル</sup>○欽定

つとむ

勤む  
務む

骨折リ精出<sup>ス</sup>コト○勤情○勤苦○勤學

精カ<sup>ク</sup>途<sup>ニ</sup>用<sup>ス</sup>義<sup>ニ</sup>終<sup>ル</sup>日<sup>ノ</sup>掌<sup>ス</sup>意<sup>ナリ</sup>○政務○義  
務○職務○家務○務<sup>レ</sup>利<sup>ク</sup>而<sup>シ</sup>避<sup>ク</sup>害<sup>ヲ</sup>

勉む

カ<sup>レ</sup>及<sup>バ</sup>所<sup>ヲ</sup>シ<sup>テ</sup>ト<sup>ル</sup>コト○勉勵○勉強○誠者  
不<sup>レ</sup>勉<sup>ム</sup>而<sup>シ</sup>中<sup>ニ</sup>不<sup>レ</sup>思<sup>ハ</sup>而<sup>シ</sup>得<sup>ル</sup>中庸

努む

一<sup>イ</sup>キ<sup>キ</sup>カ<sup>ク</sup>入<sup>レ</sup>勵<sup>ム</sup>コト○努力

力む

○力政○力行○力<sup>レ</sup>民<sup>代</sup>食<sup>ハ</sup>詩經

つね

常

変怪奇ノ字ニ反対<sup>シ</sup>善<sup>キ</sup>下<sup>リ</sup>即<sup>チ</sup>「モカト」定<sup>リ</sup>タル意<sup>ハ</sup>「何<sup>レ</sup>珍<sup>シ</sup>キ事<sup>モ</sup>モヤ  
意<sup>ハ</sup>」ナ<sup>リ</sup>アヤ<sup>シ</sup>キ事<sup>モ</sup>ナ<sup>キ</sup>意<sup>ニ</sup>用<sup>ユ</sup>○常法○常道○居常

○不改<sup>ル</sup>常

恆

○恆産○恆心

毎

○毎度○毎日

つひに

遂に

此<sup>レ</sup>事<sup>ヲ</sup>「<sup>ニ</sup>彼<sup>ニ</sup>重<sup>ク</sup>成<sup>シ</sup>遂<sup>ル</sup>」コト○遊行○遂<sup>ニ</sup>通<sup>ス</sup>道<sup>ヲ</sup>「九<sup>ノ</sup>夷<sup>ハ</sup>八  
蠻<sup>ニ</sup>」書<sup>ノ</sup>終<sup>ル</sup>

終に

始<sup>メ</sup>反<sup>シ</sup>対<sup>シ</sup>テ「<sup>ハ</sup>テ」又<sup>ハ</sup>口<sup>ノ</sup>ウ<sup>ケ</sup>義<sup>ナリ</sup>○終<sup>ニ</sup>累<sup>ハ</sup>大<sup>ノ</sup>徳<sup>ヲ</sup>○皆

竟に

口<sup>ノ</sup>ウ<sup>ケ</sup>外<sup>ノ</sup>事<sup>ニ</sup>ナ<sup>ラ</sup>ズ<sup>シ</sup>意<sup>ニ</sup>用<sup>ユ</sup>○畢竟

卒に

口<sup>ノ</sup>ウ<sup>ケ</sup>意<sup>ナリ</sup>○卒<sup>ニ</sup>盟<sup>シ</sup>而<sup>シ</sup>還<sup>ル</sup>



つぶさに

具さに

「コトオチミナリ」ト云フ義ありの具訓「蒙士」書經

備さに

具ト同意ナリ○備具○險阻艱難備當之ヲ左傳

つまびらふ

詳か

略ト反対ニシテクニヌト ○詳細○詳略

審か

トクト念ヲ入レタシラニルコト ○豫審○審査○審定

つらなむ (つらぬ)

連る

ミクコト○連互○連珠○流連

聯る

○聯邦○聯合○聯隊

列る

ナラフコト ○排列○行列○列聖○陳列○羅列

とノ部

とがむ

尤む

ゴネシラトガリトニ用ユ ○不尤人○言寡尤  
論語  
約束違フ道理ニダガウキ法度ニダガウラトカリト ○既

往不処ヲ 論語

とま

時

時日ニワリケテ用フ又産ク時節ヲ指スコトアリ ○十二時○學而

時習之ヲ 論語

秋

元來春夏秋冬ノ秋ニシテ四時ノ一ナリ秋物ノ成熟スニ時ナラ以テ所

要時節ト云フコトニ轉ス○危急存亡之秋也 出師表

辰

○佳辰○良辰○吉辰

期

○時期○期限

ところ

所

實語用スルコト虚語用スル時トニ様アリ實語用スル時ハ其ノ

場所又ハ方角ナリノ獻テ公所ニ○萬物得<sup>ル</sup>其所  
○所行○所爲○所作  
處<sup>カトコト</sup>アリトモレノ義ナリノ到處○住處○東林  
送<sup>ル</sup>客<sup>ラ</sup>處

とづ(とざす)

閉<sup>ズ</sup>開<sup>ル</sup>闔<sup>ノ</sup>又<sup>対</sup>ミ<sup>テ</sup>キ<sup>ル</sup>コト○閉<sup>ル</sup>門  
闔<sup>ズ</sup>白<sup>ク</sup>タ<sup>ル</sup>コト○闔<sup>ル</sup>門<sup>ヲ</sup>○開<sup>ル</sup>闔  
緘<sup>ズ</sup>口<sup>ヲ</sup>ガ<sup>カ</sup>コトナリ○參<sup>ル</sup>緘<sup>ニ</sup>其<sup>ノ</sup>口<sup>ヲ</sup>  
封<sup>ス</sup>フ<sup>ラ</sup>ク<sup>ル</sup>コト○封<sup>入</sup>○封<sup>緘</sup>

とこのふ

調<sup>フ</sup>程<sup>ヲ</sup>ス<sup>ル</sup>コト○調<sup>和</sup>○調<sup>諧</sup>○調<sup>停</sup>○風<sup>雨</sup>調<sup>フ</sup>  
整<sup>フ</sup>ク<sup>ニ</sup>違<sup>ヒ</sup>キ<sup>様</sup>ス<sup>ル</sup>ヲ<sup>隨</sup>ッ<sup>テ</sup>物<sup>事</sup>ヲ<sup>立</sup>派<sup>ス</sup>ル<sup>ニ</sup>用<sup>ユ</sup>○嚴

齊<sup>フ</sup>整<sup>○</sup>齋<sup>整</sup>○修<sup>整</sup>○整<sup>飭</sup>  
物<sup>事</sup>ヲ<sup>ヒト</sup>ツ<sup>ラ</sup>シ<sup>ロ</sup>ス<sup>コト</sup>又<sup>物</sup>事<sup>ノ</sup>ヒト<sup>ツ</sup>ラ<sup>シ</sup>ロ<sup>フ</sup>コト○家<sup>齊</sup>  
○齊<sup>一</sup>

とこむ(とこまる)

止<sup>ム</sup>動<sup>カ</sup>サ<sup>マ</sup>コト○動<sup>止</sup>○禁<sup>止</sup>  
留<sup>ム</sup>ヒキ<sup>ト</sup>ル<sup>コト</sup>○去<sup>留</sup>○滯<sup>留</sup>○遲<sup>留</sup>○逗<sup>留</sup>  
停<sup>ム</sup>ソ<sup>ノ</sup>場<sup>ニ</sup>シ<sup>テ</sup>止<sup>ル</sup>コト○停<sup>車</sup>○停<sup>水</sup>○停<sup>雲</sup>  
○停<sup>止</sup>

とふ  
問<sup>フ</sup>訪<sup>フ</sup>

物<sup>事</sup>ヲ<sup>タ</sup>ツ<sup>ヌ</sup>ル<sup>事</sup>○問<sup>答</sup>○質<sup>問</sup>○問<sup>題</sup>  
此<sup>方</sup>ヲ<sup>往</sup>キ<sup>テ</sup>問<sup>フ</sup>事<sup>ニ</sup>用<sup>フ</sup>又<sup>人</sup>ヲ<sup>尋</sup>ヌ<sup>ル</sup>コト<sup>ニ</sup>用<sup>ユ</sup>○訪<sup>問</sup>  
○來<sup>訪</sup>

訊ふ トヒタズナリ ○芳訊 ○訊問

とほる (とほす)

通る 塞リ交射ミテ行キスベテツクマコト ○貫通 ○開通

徹る ○四通 ○窮通

透る 大底通上同義ミテ底マデ通りヌクルコト ○貫徹 ○徹底

洞る ヲキヌクルコト ○透明 ○光透 ○窓透 ○汗透

洞る 家ニ ○墨透紙 ○洞貫

洞る ヲキヌクルコト ○洞門 ○洞貫

とも

與に 彼レモ是レモ同ジクシ義ミテ「イッレヨシヒトツニト云フ義ナリ」○世

與に 與少有

共に 若同ニスル義ナリ ○可與共學 ○與衆共之

俱に

俱に 「イッレヨシヒトツニト云フコト」物ヲソクテ云フ辞ナリ ○玉石俱

偕に 焚書経 ○兩虎俱鬪 其勢不俱生 史記 ○夙夜必偕 ○偕行社

とる

取る エ言ヒテ又ハトリモチウレテ用フ皆我ガ物ニスルコトナリ ○取捨

採る エ言ヒテコト ○採拾 ○採擇 ○採用

攬る 取りアツナヒキトメテ手ニ持ツコト ○總攬

操る 持テテ放サユ事、義ヲ立ツルニテモ志ヲ立ツルニテモ一ツカト立ツル所ア

執る ルヲ云フ ○操刀 ○操矛 ○操持 ○志操

執る 手ニ持テテハナサヌコト ○執筆 ○執戟

な、部

ながし

長し

形ノ長短ニモ時ノ長短ニモ用ユ。○才長。○長幼  
○消長

永し

主トシテ時ノナガキ事ニ用テ。○永久。○永日。○江  
流永シ

なかれ

勿れ

禁止、辞テリ。○非禮勿視。非禮勿聽。論語  
○慎勿與戰。史記

母れ

矢張り禁止、辞ニテヨリハ重シ。○飯黍母以箸  
禮記

莫れ

○慎莫使人聞也。鐘會傳。○莫多飲酒。華佗傳

なく

鳴く

鳥獸ノナクト又ナルトモ訓カ、物ノ聲ヲ出ス。或ハ名聲ノナ  
キヲ義ノ和鳴。○悲鳴。○鳴世。

啼く

聲ヲタテ、ナクト。○家人立而啼。左傳

泣く

涙ヲ流シテナクト。○涕泣。○泣血  
涙ヲ流シ聲ヲアゲテナクト。○歌于斯。哭于斯。禮記

なげうつ

抛つ

ナゲヤルコト、ナゲスルコト。○抛棄  
ナゲワクルコト。○放擲。○打擲

なげく

慨く

クヤシガルト。○憤慨。○慷慨

嘆く タメキマツクコト ○嘆息 ○嘆聲  
嗟く 此字贊美ニモ憂愁悲哀ニモ用フ嘆ノ字ト略ホ同義ナリ ○嗟嘆

なす(なす) 爲す 作造義ナリ ○有爲 ○無爲 ○主人請入爲シ

成す 席禮記 事ヲ成就スコト ○習成性 ○成績  
就る シトケルコト出來アハルコト ○成就

なほ 猶ほ コトハヤハリノ意ナリ ○其民力竭矣字猶取哉 野圖業  
尚ほ 其上ニコトガレノ意ナリ ○愚民猶尚犯禁 句奴傳  
なやむ

惱む 苦シムコト ○懊惱  
艱む モトトノサハレガチニルコト ○艱難 ○艱苦

ならふ 習ふ 幾遍トナリ重ネテナラヒ孰スレバダニ手馴ルコト ○熟學習

肄ふ 藝術ヲ復習スルコト ○肄業  
倣ふ コトヲスルコト ○模倣

なる(ならず)

馴る 鳥獸ノ人ニナシテツクコト ○馴養 ○雅馴  
押る ナレナジルコト ○押而敬之 ○德盛不押侮  
褻る 元來膚ニツケル衣服ノコトソレヨリ轉ジテ至極クワロキテ心ヤスリスルコト用ユ ○褻衣 ○見之 雖熟必變 論語

慣る シテハコトニ習ト同義ナリ ○慣聞ク ○慣看 ○習慣  
に、部

に

北ぐ 敵後見ルコト ○敗北 ○脱走

脱ぐ ヌケイヅルコト ○脱兎 ○脱走

亡ぐ ノガレサルコト ○亡人 ○逃亡 ○遁亡

逃ぐ、遁ぐ、避ケルコト ○遁逃 ○逃去 ○隱遁

にくむ

惡む 好ノ反対ニシテ、キアライヤルコト ○如ク悪ニ惡臭ハ如ク好色ヲ

大悪

憎む 愛ノ反対ニシテツラク思フコト ○憎惡 ○讒人之亂國

誠可嫉而可憎 政子

になふ

荷ふ 天秤ニテカガ心ナリ、負又ハ擔ニ通用ス ○荷葉 ○荷笠

擔ふ 肩ニカッゲコト ○負擔

にはかに

卒かに 忽遽ノ貌ナリ、俗ニフシト云フコト ○卒然 ○忽卒

○卒適 敵入ニ辞テ而失行ヲ 吳子

○何者恐其暴起而害レ已 吳子

○驚遽 驚急ノ意アリ ○駭遽 ○急遽

○俄かに

○俄然

に

似る 其モノ又ハ其様ニ見ルコト ○似猫 ○屏氣似不怠者 論語

肖る ○不肖 ○肖像

にる

煮る

ニエタスルコト

○烹煮

煮る

ニホスコトニテ煮ヨリ重シ ○烹魚

ぬ、部

ぬ

抜く

引キ抜ク又重ナリ先モラフクキヨリ抜キ出ス意ナリ ○拔羣

○選抜 ○確乎不可拔

抽く

○抽籤 ○左旋り右抽

挺く

○挺出 ○挺身

ぬすむ

盗む

人ノモノヲコト ○竊盜

偷む 竊む

スキヲモライテカスルコト ○偷生 ○偷閑 ○偷安  
人自ニカハラズ様ニ物ヲヒコシノ鼠竊

ぬ、部

ぬ

妬む

嫉む 媚む 此三字註婦妒失曰妬 夫妒婦曰媚

妬同義ナリ ○爵高者人妬之ヲ列子

妬む

ぬ

眠る

目ヲトケテネリルコト ○臥眠

睡る

サネリルコト ○睡眠

瞑す

目ヲフサゲルコト ○瞑目

の、部

のこす(のこる)

遺す

遺物遺言遺字ヲ義明クナリ又遺字ハコレノ物ヲ  
先セタルコトヲスルコトヲ義アリ

貽す

後世子孫ニコレヲ義ナリ

残る

〇殘餘 〇殘金

のぞむ

臨む

〇臨淵 〇臨事 〇臨下 〇臨政  
〇君臨 〇光臨

莅む

臨上略オ同義ナリ

望む

高キ見ルコト又遠キ見ルコト云フソレヨリ轉ジテ心ニカク凡ベキ筆下

思ヒ又人見上ケラレノコトモ用ユ

仰望 〇人望

のぶ(のばす)

伸ぶ

屈ノ反対シテコトキナガレシ義用フ

延ぶ

〇延長 〇蔓延 〇延引

舒ぶ

〇舒席 〇眉舒 〇卷舒

展ぶ

〇展卷 〇展書 〇開展 〇親展 〇驥足展

のぶ

述ぶ

人ニ言ラリマシコトヲモ、又已レノ意思ヲノベアラハスヲモ云フ

宣ぶ

〇著述 〇編述 〇講述 〇敘述  
〇宣旨 〇宣言 〇王教宣



陳ぶ

モリカクニタテニ云フコトノ敷陳 ○陳述 ○陳情表 ○  
明陳大義

演ぶ

○演説 ○講演

のぼる(のぼす)

登る モリトホノ ○登山 ○登殿 ○登屋 ○登祚  
昇る 此ニ字同義ナリ、スミホルト ○日升 ○昇堂

陞る

○陞階 ○陞叙

騰る

○飛騰 ○奔騰 ○沸騰

上る

○上道 ○氣風日上

のむ(のます)

飲む ミツケルイヲムコト ○飲食 ○飲聲  
呑む 何ニテモ丸クミスルコト ○吞舟魚 ○併呑

のる(のす)

乗る

元來車ニ乗リテハ物ノ上ニ乗リタルヲ用ユ ○乗車

騎す

○乘馬 ○乘輿

駕す

馬ニ乗リ ○騎馬

駕す

○駕馭 ○凌駕

は、部

はかる

計る

物ノ数ヲ數ル又ハ物ノソリヲ立ツルコト ○總計 ○計較

謀る

○計策 ○計畫 ○會計 ○大計  
思慮スルコト又ハ人ト相談スルコト ○謀慮 ○奇謀 ○

量る

遠謀 ○廟謀 ○參謀 ○智謀

「マス」ノ義ヨリ轉ジテ度ク物事ノ積リ立テ用ヌ ○量

測る 度ハカリの商量ハカリの不度ハカリ徳トク不量ハカリ力チカラの度量ハカリ  
水中に丸を投げ、轉じて物、距離を見積り用入、測量ハカリ。

測度ハカリの推測ハカリの窺測ハカリ

度る 料度ハカリ 計度ハカリ  
圖る 雄圖ハカリ 大圖ハカリ

はく

吐く 嘔吐ハク 嘔吐ハク 周公一飯三嘔吐ハク 嘔吐ハク 嘔吐ハク

嘔く 幾度モハキスハク 嘔吐ハク

噴く 噴泉ハク 噴則大者如珠小者如ハク

霧ハク 莊子

はとめハク はとむ

始 王事ハクの上ハクにハク云ハクふ 始終ハクの始末ハクの王道ハク之始ハク也ハク 孟子

初 王時ハクの上ハクにハク云ハクふ 當初ハクの最初ハクの慎厥初ハク

首 一番ハクがハクケハクノハク意ハク 卷首ハクの首尾ハク

創む 新ハクにハクシハクルハクニハクシハクルハク 創業ハクの創設ハクの草創ハク

はくハクるハク (わくハクするハク)

走る 走ハクルハク 戦場ハクにハクシハクケハクルハクモハク用ハクフハク 奔走ハクの飛走ハクの敗

走 棄甲ハク曳ハク兵ハク而走ハク 孟子

奔る 外ハク目ハクヲハクフハクテハクミハクカハクケハク出ハクスハクテハク走ハクリハク 強ハクニハク戦場ハクにハク逃ハクグハクルハク 又國中ハクヲハククハクチハククハク

一ハクモハク用ハクフハク 出奔ハクの奔命ハクの可ハク奔ハクニハク他國ハク

趨る 足ハクバハクヤハクミハクルハクニハクコハクトハク 趨走ハク

はくハクはくハク (はくハクはくハク)

恥づ 巨ハク心ハク淫ハクヲハクカハクシハクテハク三ハク重ハク角ハク无ハク字ハクナハクリハク 恥辱ハクの知ハク恥ハクヲハク近ハク乎ハク

勇 中庸

辱ぶ 榮多對ニテ外聞悪シキコト ○榮辱 ○汗辱 ○屈辱  
 愧ぶ 此心よかヒテ ○仰不愧天 俯不愧人 韓文  
 慚ぶ 此ニ字愧ト同義アリ ○慚愧  
 報ぶ 作づ ハチテ赤面スルコト ○言讀尚不能通曉 范  
 然増ニ愧報ヲ 韓文 ○不作

はなはだ 甚だ コトクシ又ハコトト譯ス ○甚敗 ○甚哉  
 酷だ ツヨクモシキ意 ○酷愛ス ○酷憐 ○酷好ハ文

はや 早 晩交對ニテオクキコト ○來早 ○早起  
 夙し 未明義ニテ早ト義同 ○夙夜 ○夙昔 ○夙縁  
 捷し スハヤキコト ○敏捷

はらふ 速し ○遲速  
 掃ふ 箒ニテケコト ○洒掃 ○掃除  
 拂ふ 拂子ニテウケハラウヤウニスルコトヲ 夙ト所産シ ○拂之ヲ

はるか 攘ふ ○攘夷

遙か 遠リルニ様ヲ云フ ○遙々  
 遐か 通ニ交對アリ ○登遐  
 邈か ○邈々 ○遙邈  
 遼か ○遼遠 ○遼邈

ひきみる 部

率ある ヒキヨクコト の 統率 シテ の 率師來 ル の 率先  
帥ある 矢張りヒキヨクコト又ハヒキヨクコト の 子帥以正孰敢不

正論語

ひく

引く 弓ヲヒク義ヲ轉ジテ應用フ の 引而伸之 シテ の 引錐自

刺其股 史記 の 其引喻也 深切ナリ 行義

曳く 物ヲ引ク義 の 拽杖 ヲ の 曳兵而走 ル

牽く 獸類ニシテ引ケテ引ク義 の 牽牛

挽く カラ込ナテ引クコト の 挽如 ヲ

援く 引キカケテコナクヘ引キヨスコト の 舉賢援能 ヲ

延く コナク招クコト の 延客 ヲ

ひく

低し 高ク又對テ用ヒ所度シ の 高低

卑し 高尊出宗又對テリ手ニ依キナド市フ の 卑近 ノ 卑賤

ひそかに

竊かに 忍ビヤカトシテ自ラ盜意アリ の 竊考 ノ 竊負 ヲ 而逃

私かに 公ニ對テ曰證テシ意アリ の 私考 ヲ の 私淑

陰かに 陽ノ對テカゲニシテ意アリ の 陰行 ヲ 其私

潜かに 水潜リテ字ナレ深隱ニ字ヲ兼メ の 潜龍 ノ 潜伏

ひとし

均し 物優劣ナリ等分ル の 均衡 ノ 均一 ノ 平均 ノ 晝夜均

等し 元來コトヲ讀ミテ段如キリツヨリ轉ジテ同ジトナリ意アリ の 平等

齊し 〇齊一

ひとし

單に 三重にテ相重ナラヌ一故、博キ意アリ○單衣○單身○單騎  
偏に 一偏にヨリ故、カクイテ其意ナリテ一方ニヨリ向キタルコトヲ云フ

○偏倚○偏僻○偏頗○偏言

ひま

隙

物ノミヨリ又ソレヨリ轉ジテ人ニ交リノ睦ミカニメテ用ユ○若シ自  
駒之過隙ハル史記 ○與沛公有隙ハル史記

間

イリガシカラヌ一ノ間暇○間散

覺

物ノ目ノソレヨリ轉ジテ人ニ交リ睦ミカニメテ用ユ○人無ケレ  
覺則狀不自作ラ左傳

ひろく(ひろむ)

廣し 狭ニ対シテ限リナクヒキコト ○廣大 ○廣闊  
博し 心ヒキコト ○博聞 ○博愛 ○博學

弘し 廣大ノ義ナリ功德事業ノ上ノ道能弘ク人ヲ  
汎し 深入りテセバヒキコトノ汎言○汎愛シテ衆而親ム仁ニ論語  
寛し 寛仁大度○寛大  
闊し 潮平兩岸闊  
ふくむ ぶく部

ふくむ

含む

本義ハ口ニクミテアルコトナレ其南方廣シ ○含む田

銜む

口ニクハルコト ○銜ム枚ヲ○鳥銜ム花ヲ

ふす

臥す

横ニテノ起臥

伏す

面ヲ世ニテテフシカハコト又見エユヤラスル一ノ起伏○伏兵

俯す

仰ノ対ニテカウビラカルコト ○俯仰

ふせぐ

防ぐ カニ用心スル ○國防の防禦の豫防の人心瀆防未萌

之欲ラ 大摩行義

禦ぐ サシテタリテフセケテ ○兄弟鬩牆外禦其侮 詩經

ヨセツケヌト ○拒絶

ふむ

踏む 踏む ニテ共ラハリ又足拍チラフ ○舞蹈○蹴踏○踐踏

履む フミテアケテ ○履霜○履行○履歷

踐む ○實踐躬行

ふる

揮ふ 物ヲキニ持チテフルコト ○揮筆ヲ ○揮戈 ○揮毫

振ふ ○振衣 ○振威 ○振作 ○振動 ○振怖

奮ふ ○奮起 ○奮然 ○奮發

へ、部

へだつ (へだたる)

隔つ 間ニ物ヲ入ルニト又ヘカタルコト ○間隔 ○隔山 ○隔

壁 ○隔離 ○隔窓 ○防隔内外 ○隔絶

阻つ 山川道路ヘカタル義ヲ轉ニテセキトランニ名ニ用ユ ○阻諫

○阻賢者路

へつらふ

詔ふ 人ノ氣ヲ入レテ心ニマキテラフ ○詔諛 ○貧而無詔

諛ふ 詔ニ同義ナリ ○面諛

佞ふ 人ノ氣ヲ知リテウマク云ヒマス ○佞者

ほ、部

ほたる

誇る 言語の上ニ自慢スルノ誇稱

矜る 高ナルコト ○矜伐

ほしきまゝに

恣に 氣マナルコト ○放恣 ○縱恣 ○驕恣

擅に 不ニ事ヲ執リ行フコト ○擅國 ○擅名 ○擅譽

放に 放テテ行ハルコト ○放恣 ○放言 ○豪放 ○曠放

縱に 用テ○放心 ○放逸 ○放言 ○豪放 ○曠放

肆に ○放縱 ○豪縱 ○縱逸

ほとんど

殆ど 今少し上ト云フ意ニ事セマリク辞テ一中ノ充分迄近ヨリ

幾ど

タル義アリ○今天降レ疾ヲ殆ト不興不悟 書經  
スデトモト云フホト辞サリ○役徒幾盡 左傳○我幾不悅於  
虎口

ほとり

邊 物ノマハリフチラ云フ是ヨリ轉ジテ國ハノ事ニ云フ ○邊鄙○水邊

邊疆

元來田界ノ義ヨリ轉ジテ邊ノ字ノ意ニ角ッ ○青々河畔草

カタワキヤリ ○君側 ○邊側

水邊ナリ ○水瀕

ほい

粗略 大概ニ云フ辭ニテアラクニ義アリ ○粗陳ニ其略ヲ

粗略 アラクニ意ニ細クニ推シ尋子カレ意アリ ○粗陳ニ其略ヲ

ほむ

褒む

貶を対ナリ言葉ニて褒むル又人中ニホキ名ノ聞ニヤウニスル

〇褒貶 〇褒賞 〇寵褒

譽む

毀を対ナリヨキヲ表ハシテホタノ〇毀譽 〇名譽

〇聲譽

賞む

罰を対ニテ物ヲ褒美シヤリ又人ヲ引キ起シテ意ヲ兼メ〇賞賛  
〇鹽賞 〇賞賛

ほろぶ (ほろぼす)

亡ぶ

有モノナクシテ〇亡身 〇存亡 〇死亡 〇亡失

滅ぶ

火ノ消ヒユトシテ轉ジテ廣リ用之〇滅亡 〇滅却

〇廢滅 〇減滅

まノ部

まうす (まをす)

申す

事ノワケヲノヨクワカル様ニ述ベワクスコト 〇上申

白す

アカラ様ニ述ベ告ケルコト 〇啓白 〇敬白

啓す

ワケヲ聞キ申述ズル意ヨリ言上スル義トナルナリ又白王族ニ申シ

ヤケユル 〇拜啓 〇凡用ニ行政皆先密啓 〇啓書

奏す

臣下ヨリ天子ニ申上ケルコト 〇奏事 〇上奏 〇奏聞

稟す

〇稟申

まこと (まことに)

眞

偽ノ反対ニシテ少シモワケルコトヲ事 〇眞實 〇眞誠 〇天真

〇眞理

誠

心ノマコトナリ 〇至誠 〇誠實

信

〇信義



實 虚ノ反対ナリ ○信守實

まさき

正に ワキ(歪)ズテ度真向(ま)ト。○轉(く)依(よ)車(くるま)亦(も)依(よ)轉(く)虚(こ)統(と)之(の)勢(せい)

正是也 韓非子

當に アタリ前(まへ)：斯(この)ウチ(こゝ)ニ無(な)クテ苦(くる)シト(ト)義(ぎ)也(なり) 漢(わん)文(ぶん)云(い)フ 當(た)宜(い)云(い)フノ如(ごと)ク

二度廻(まわ)リテ讀(よ)ム

將に 既(すで)ニ反対(たがひ)ナリ オツケ(つ)ケ(つ)カテテノ意(い)ナリ ○天(てん)將(しょう)以(も)て夫子(ふし)ヲ為(な)ス

木鐸 論語

方に ○方(かた)生(な)キ方(かた)死(し)ス

ますく

益 アガヒニソフルコト ○滋(し)益(えき) ○家(け)益(えき) 貧(ひん)

増 増(ぞう)加(か)フルコト ○感(かん)深(しん)益(えき) 懼(おそ)レ 喜(よろこ)極(ごく)テ 增(ぞう)非(ひ)心(しん) 梅(うめ)文(ぶん)

滋 フスド ○天(てん)休(きゅう)滋(し)息(そく) ○弟(てい)子(し)之(の)惑(ごく)滋(し)甚(しん) 華(か)

また

又 アノ上(うへ)マケレ(り)アノ他(た)マケレ(り)ノ義(ぎ)ナリ ○問(もん)又(また)曰(い)フ

亦 モトメテノ義(ぎ)ナリ ○舉(こ)テ大事(だいじ)ノ亦(また)死(し)ス 史記

復 アノ又(また)レノ義(ぎ)ニテ又(また)復(また)重(おも)復(また)ノ意(い)ヲ含(こ)メリ ○日(ひ)復(また)一(いつ)日(にち)

まよつ

待 此(こゝ)方(かた)ニ在(あ)リテマコト ○待(まち)又(また)ラ ○待(まち)遇(ぐ) ○接(つ)待(たい) ○君(きん)子(し)藏(ざう)

器 於(お)身(み)待(まち)時(とき)而(して)動(うご)ク 易經

俟 又(また)カ自然(じぜん)ニソコヘ來(き)テ迄(まで)待(まち)ツト ○俟(まち)ニ後(あと)之(の)君(きん)子(し) 大學序

まよつた

全 全(ぜん)シ、完全(ぜんぜん)ス、此(こゝ)ニ字(じ)ハ義(ぎ)少(せう)シ其(その)上(うへ)ニ在(あ)リ、全(ぜん)ハノコト 処(ところ)ナキナリ 完(かん)

陰(いん)所(しよ)無(な)キナリ 全(ぜん)多(た)ク、上(うへ)ニ在(あ)リ、完(かん)ハ、上(うへ)ニ在(あ)リ、故(ゆゑ)ニ大(だい)全(ぜん)

ト云ハ大定ト云ハ不究因ト云ハトモ全固ト云ハス  
○瓦全 ○完了 ○完美 ○完璧

まつる

祭る 三ノイニ慶ク用ニ字ナリ ○祭祀 ○祭思敬ラ 論語  
祀る 定マラズマツリナリ ○國之大事在祀與戎 左傳

守る

守る ミニコト ○守備 ○不失守

護る 大切スルコト ○保護 ○擁護 ○守護

衛る トリマクコト ○守衛 ○衛戍

まれ

稀 マハシムコトクマコト ○月明星稀ナリ

罕 ヲクシク義ナリ ○子罕言利 論語

### みノ部

みだりに

妄りに カリコトカガロコトノ意ナリ ○妄作 ○妄語

猥りに 妄ノ字ノ義近シカガロコトヲミナト 譯シテ見ル

○猥り自ラ枉屈 ○煩猥 ○猥雜

濫りに

フケナクシ存ジヨラスレフマヤルシ又ハフケヤミシ等ノ義ト  
心得シ ○濫入 ○濫賞 ○濫用 ○濫刑

○不得濫採

みち

道 人往來ニ所ナリソコヲ轉ジテ人行フニキ筋道ノ義用フルコト

アノ道路 ○大道 ○道德 ○道理

路 街道筋ナリ去リ轉ジテ人ノ世ヲタリテ世路ト云ハ人行ク末

末路ト路ハ道ニ比シテカサキニチラフ路傍  
○ 遍路ノ行路

コヨリ彼処迄ノノチステラフ○ 長途ノ半途

途

満ツ 缺ニ対シテバイニテコト○ 持満ノ満足ノ満損ヲ

盈ツ 縮又ハ虧ニ対シテ満ト自義ナリ但シオラクニチテ

充ツ 意ナリノ盈縮○ 盈満○ 天道盈虚消息居ニ

實ツ 充員備數○ 軍實ノ倉廩實○ 避實實ヲ

攻虚虚ヲ

みづから 自らノ身ニ意ニ人指回ラズ我ノ手ニテ○ 自作ノ自有

みづから

躬リ 躬行○ 實踐躬行○ 躬案行士卒其飲食居處○ 蓋露傳子

親ラ 親被堅執銳ヲ 子子

みな 皆咸此ニ字ニ同義ナリ○ 悉ク同義ナリ○ 皆無○ 悉皆

みな

皆咸 天下咸服ス○ 皆使諸吏帶劍 張丞相傳

みる 目ミカルコトミクルコト○ 見聞○ 人之視已如見其肺

みる

見る 肝然大學

視ル 見ト忘テ心ヲ止ミ見ルコト○ 視察○ 視聽○ 視力

○ 熟視○ 視事

○ 視察○ 視聽○ 視力

看る

視字近し久し見つた意アリ。○看病。○看護。心ヲトククミク見ルコト又見物スルコト。○觀物。○觀覽。

覽る

一通り目ヲ通ス。○一覽。○天覽。○博覽。○遊覽。

む、部

むかふ

向ふ

背ノ反対ニテ目アテノカク入マキニウチカウコト。○南向而立。

迎ふ

送ノ反対ニテ物ニ先立テ動ク。先ヨリ來ルニ先立テ此方ヨリ出テ、迎カレナリ。○送迎。○歡迎。

邀ふ

此方ヨリ待チマウケテ出テ向ルコト。○邀駕。○舉杯邀。○明月。

むくゆ

報ゆ

恩怨共カレシムルコト。○以直報怨。以德報怨。論語。元來主人ヨリ客迄返杯スルヲ轉ジテ報ト同義用ユ。○報酬。○獻酬。○貴酬。

結ぶ

物ノ端ト端トウツキ合ス。ト之ヨリ轉ジテ解ケル義ナリ。○結婚。堅クナスコト。○條約締結。○合從。○締交。

空

有又不在、又対ミテ無有ノ反対ニテ無ナキアリ。空中ニ在ク物ナキナリ故ニ。空(カミ)ニ義アリ。○空手。○空拳。○引軍。○空還。

虚

實ノ反対ナリ。中スキテハイニマラカレ。○虚實。○虚偽。

虚

○虚詐。○空虚。

曠

○曠日。○曠野。

め、部

めぐる

巡る 行視ナリ ○ 巡守 ○ 巡間 ○ 逡巡 ○ 巡察  
繞る マリ、回リテ廻ルニト ○ 纏繞 ○ 圍繞  
旋る ○ 旋風 ○ 周旋  
環る ○ 環視 ○ 環堵  
周る 一周

も、部

もつとも

最も 象中ニテ其第一ナルヲ云フ ○ 最初 ○ 最上 ○ 最後  
尤も 目立テ意アリ故ニ「トヒ」ハナハダトモ訓ニ最ク字ハ物ニカ、リ尤ノ字、  
事ニカ、ル ○ 尤モ甚シ ○ 尤モ精力過絶人ニ 匡衡傳

もと

本 末ニ対ナリ ○ 本末 ○ 本根 ○ 本意 ○ 君子務本、論語  
元 首始ノ義ニテ物事ノ心マリナリ ○ 元日 ○ 元旦 ○ 元年  
原 源ニ逆ナリテ其始ヲ尋ヒテ意ナリ ○ 根原 ○ 本原 ○ 原料 ○ 原稿  
素 口ナシ知ドト等ヲ云フ ○ 平素 ○ 陳嬰素衣、信、謹、史記  
固 勿論トシテ意ニ用ユ ○ 固聞之 ○ 君子固窮、小人窮斯濫矣、論語

もとむ

求む 探ルル事、己求ルル意ニモ尋ネホルル意ニ用ユ ○ 請求 ○ 購求  
○ 同氣相求

索む 尋ネホルルコト ○ 探索 ○ 搜索  
需む 無クテハナラヌモノヲ待テ求ムルコト ○ 需要 ○ 軍需  
要む 要求

もとる

戻る

和文対シテネテ出カントの乖戻、反戻、詭戻、復戻

悖る

強クトスルナリカウアト 悖戻、悖逆

復る

〇復諫、〇剛復不遜

根る

〇根戻

もの

者

上文、事柄ヲ受ケテ言フ多シ 〇前者 〇後者

物

形体、モノヲ言フの物品、〇事物、〇萬物、〇物體

や、部

やいなふ

養ふ

モノオヒクナテ育リ様ニスルコトの養育、〇養育、〇養生

〇培養、〇養生

牧ふ

野がイニスルコト 〇牧場

畜ふ

〇牧畜

育つ

〇育兒、〇訓育、〇教育

やすい

安し

危ニ対シテアザリ落付キト意テ、〇安穩、〇安置、〇安不

忘危

易し

難ノ反対ニシテ シヨキト 〇平易、〇容易

寧し

〇安寧

康し

〇康寧、〇安康

泰し

〇安泰

やどる

宿る

逗留スルコト又單ニ止宿スルニ用ユ 〇宿泊、〇止宿路

而宿論語

舎る 市屋義ヲ轉ニ止宿ニ用エ 〇舎館未定

和合 〇和順 〇調

和同 〇中和 〇溫和 〇際陽和

柔順 〇柔遠

〇柔弱 〇柔軟

やぶる

破る 破屋 〇看破 〇說破 〇讀破 〇戰敗 〇大敗

敗る 成又勝交封

やまひ

疾

〇其疾不瘳

疾ト殆ト同義ナレバ 疾病ナリト云フハ 疾ト重クナラフ 〇病氣

〇疾病 〇子疾 病子路請禱 論語

流行病ナリ 〇時疫

持病ナリ 〇痼疫

や

痼疫

稍

小ナリ 漸ナリ

クテ見ハク義ナリ 〇春寒花較選

ゆく

行

行ハ止ムナリ 而シテ走歩往來ヲ兼ネ 其用度 〇行人 〇行旅 〇進行 〇行軍 〇日夜兼行

往く

来字又ハ還及覆等字ト対ス行クノ字ハ不ク事故、行クモ  
歸ルモ皆行ナリ 往ノ字ハ先キハ行クナリナリ ○往來 ○往昔  
○往來 ○往歳  
畧ホ往ト同義ナリ

ゆづる

譲る 和ガ身ヲ後ニテ人ヲ先ニスルコト ○辭讓 ○禮讓  
禪る 天子ノ位ヲスガリ渡スコト ○禪位 ○受禪

ゆるし(ゆるやか)

緩し 急ノ及対シテ繩然ナド引キ張ラヌコト ○緩歩 ○舒  
緩 ○遲緩 ○性緩ナリ  
寛し モノニ廣クシテクワロギリ元ト故ニ物ヲ入レル上ニテ古ヒ又度巨重  
ノ廣クシテ物ヲ受ルコトヲ云フ ○自寛 ○寛猛 ○寛大

ゆるす

赦す 罪過ヲユスコト ○大赦  
許す ソレニテヨシトスルコト ○免許 ○許諾  
允す 誠ニヨシト見トスルコト ○允許  
免す 元來フ免カシト訓スル字ナシト云ルコト訓スルハモマカレシムル意也

宥す

見ガスコト ○宥免  
見ガスコト ○宥免  
よノ部

よ

世 心ヨリ終リ迄ノ時世ニ就キテ云フ ○周世 ○世次 ○二十世紀  
○第五世

代 入り愛リニテト易代改號ト云フカサレ漢代唐代ナドノ書キ



テ世ノ字ト同義ニ用ル一アリ ○時代

よく

能く 業ヲヨクスルヲ又ナシ得ルヲ云フ○能文○能書○吾未

能有行焉 孟子

克く 能ト同義ナレバ強シ○克明俊徳 大學

善く 〆クシム意又ハコトヲ云フ意ヲ用ヒテモナリ○善懐

〆岸善崩ル○善書畫○善絲竹

よし

善し 悪ニ対シテ道理ノウヘニシテ云フ○善悪○友善

〆相善

好し 醜ニ対シテ形ノ美シキヲ○美且好○姪好

其義大抵好ノ字ト同じ但シ佳氣佳境ナレバ好ノ字ヲ用ヒズ

佳し

〆佳良 ○佳人

良し 凡テ優レタラシク ○賢良○才良○温良○良夜

よぶ

呼ぶ 声ヲタテ人ヲ招ク又マ事ヲ用エ○號呼○喧呼○呼聲

動天地

喚ぶ 呼ト同義ナリ ○喚聲

よる

〆因る モトガテニエルヲ手カカリニエル ○因縁 ○原因

由る 〆由是觀之

元本物ヲ挿テシカミフキテヤサヌ意ナリ ○本據 ○據城

據る 據ニ於要害之地 ○據鞍顧眄 史記

付添放シカ道ハマテ猶衣人身ニ付キタガ如キ云フ ○依人

依る

依頼

頼る

タノミトシテモル<sup>ル</sup>の頼<sup>レ</sup>此篇之存<sup>ス</sup>

憑る

モシカニルコト<sup>ト</sup>の憑<sup>ル</sup>心<sup>ル</sup>憑<sup>ル</sup>心<sup>ル</sup>攔<sup>ル</sup>

よろこぶ

喜ぶ

悲憂ノ交<sup>ニ</sup>對<sup>シ</sup>テ思<sup>フ</sup>事<sup>ノ</sup>喜憂<sup>ノ</sup>喜怒哀樂<sup>ノ</sup>

○悲<sup>シ</sup>喜<sup>ミ</sup>交<sup>ニ</sup>至<sup>ル</sup>

悦ぶ

忠<sup>ニ</sup>ヨリテ<sup>テ</sup>の悦<sup>ム</sup>樂<sup>ム</sup>○悦<sup>シ</sup>色<sup>シ</sup>○悦<sup>シ</sup>服<sup>シ</sup>○不<sup>レ</sup>亦<sup>レ</sup>悦<sup>ム</sup>乎<sup>カ</sup>論<sup>ス</sup>

怡ぶ

外<sup>ニ</sup>嬉<sup>シ</sup>ク見<sup>ル</sup>テ<sup>テ</sup>の怡<sup>シ</sup>然<sup>シ</sup>○怡<sup>シ</sup>然<sup>シ</sup>○怡<sup>シ</sup>々<sup>々</sup>論<sup>ス</sup>

欣ぶ

○欣<sup>シ</sup>然<sup>シ</sup>○欣<sup>シ</sup>々

歡ぶ

○歡<sup>シ</sup>樂<sup>シ</sup>○憂<sup>シ</sup>歡<sup>シ</sup>○歡<sup>シ</sup>喜<sup>シ</sup>

わ、部

わかる(わかつ)

分る

合<sup>ニ</sup>對<sup>シ</sup>テ物<sup>ノ</sup>合<sup>ハ</sup>ルコト又物<sup>ヲ</sup>引<sup>キ</sup>合<sup>ハ</sup>スコト○分<sup>ル</sup>合<sup>ル</sup>○分

別る

析<sup>ル</sup>○分<sup>ル</sup>手<sup>ヲ</sup>○分<sup>ル</sup>離<sup>ル</sup>○分<sup>ル</sup>袂<sup>ヲ</sup>

別る

物<sup>ノ</sup>合<sup>ハ</sup>ルコト物<sup>ノ</sup>分<sup>ル</sup>ルコト○差<sup>ル</sup>別<sup>ル</sup>○辨<sup>ル</sup>別<sup>ル</sup>○區<sup>ル</sup>別<sup>ル</sup>

○惜<sup>ル</sup>別<sup>ル</sup>

訣る

合<sup>ニ</sup>分<sup>ル</sup>ルコト又死<sup>ニ</sup>別<sup>ル</sup>ルコト○訣<sup>ル</sup>別<sup>ル</sup>○永<sup>ク</sup>訣<sup>ル</sup>

わく

涌く

水<sup>ノ</sup>地<sup>下</sup>ヨリア<sup>リ</sup>出<sup>ル</sup>ルコト○涌<sup>ク</sup>出<sup>ル</sup>

沸く

湯<sup>ノ</sup>火<sup>ノ</sup>カ<sup>レ</sup>ルコトヨリ轉<sup>ジ</sup>テ水<sup>ノ</sup>逆<sup>ク</sup>卷<sup>ク</sup>ヲ○沸<sup>ク</sup>騰<sup>ク</sup>

わざはひ

福

福<sup>ニ</sup>交<sup>ニ</sup>對<sup>シ</sup>テ思<sup>フ</sup>設<sup>ケ</sup>テコト不幸<sup>ノ</sup>コト○福<sup>ヲ</sup>福<sup>ヲ</sup>○福<sup>者</sup>福<sup>之</sup>

殃

所<sup>レ</sup>倚<sup>ル</sup>福<sup>者</sup>福<sup>之</sup>所<sup>レ</sup>伏<sup>ス</sup>淮南子

殃

神<sup>ノ</sup>トカ<sup>メ</sup>テ受<sup>ク</sup>ルコト○百<sup>ノ</sup>殃<sup>ノ</sup>天<sup>ノ</sup>殃<sup>ノ</sup>疾<sup>ノ</sup>殃<sup>ノ</sup>積<sup>ル</sup>不<sup>レ</sup>

善善之家 必有餘殃 易經  
災 天地ノナセル禍 〇天災流行 〇災難  
わする

忘る 〇心オホヘコト 〇忘却 〇忘失  
遺る 〇心トリオトスニ意ナリ 〇遺忘

わたる 海ニテモ川ニモモ大ニヨラズ水ヲ渡ルニト 〇渡頭 〇渡口  
〇渡 〇江河ニテモ 〇維楫 漢書

互る 水ヲワタルコトハ非物ノ所ヨリ彼處迄行キトキタレト 〇連  
互

渉る 〇カチワリタレト 〇涉易水 〇博涉 〇涉獵 〇跋涉  
彌る 〇彌縫

わづかに 〇僅かに 〇トオバカリト譯スル善シ漸ク追付ク意ニ用フ  
故ニコトト譯スルモ善シ 〇僅々 〇僅少 〇纔可  
〇一面僅有 〇路纔通 〇一人 〇皇朝通紀

わらふ 〇ヲヒキテアリテ開キタルコトヲ開ク又花ノ咲クコトヲ花笑ト云フコトナリ  
〇冷笑 〇失笑

晒ふ 〇ニコトニ笑ヒテ齒ヲ表スアトニテ微笑ト同意ナリ 〇夫子晒フ之  
アハケリ笑フコト 〇詆嗤 〇嘲嗤

われ 〇彼ヲ對スルナリ 〇彼以テ其富ニ我以テ吾仁ニ 〇孟子  
我 〇我字ニ對シ 〇吾字ニ對シ 〇獨リニニテコトナリ 〇吾人 〇不欲三人之  
吾

加諸我也吾亦欲無加諸人 論語

予余 此二字自稱ノ辞ナリ ○余輩

朕 天皇ノ自稱ナリ

を、部

をかす(おかす)

犯す 無遠慮ニスルノ犯ス境ヲ○犯ス法ヲ

侵す 人知レズトナリ漸次ナリテハコトノ侵略

冒す ○冒ス姓ヲ

をさむ(をさまら)

治む オチカスルコトノ治ムヲ○平治○治亂

収む 取ルルヲ取り纏ムルヲシテ置クコト○收斂○收入○收籜

修む 悪シキ所ヲ直シテクハヒテホスコト○修膳 ○修身

理む スベキヲ立ルルコト ○政平ニ訟理

をしふ

教ふ 言葉ニテ教フルニテ方法ヲ註ケテ教フルニテ用フ○教育○教導

○教化

訓ふ、誨ふ 此二字大抵教ト同じト云エ訓誨ノ方ニ專ラニ言葉ノ

上ニ教テ下ノ教訓○訓誨○教誨○誨人不倦論語

をしむ

吝む 己ニキリ ○吝惜 ○吝嗇

吝む 物ヲ安リニ用ヒテコト ○天道貴シ吝嗇ヲ

惜む オモクニ思フコトハコリ多キ意ニ角ニ○愛惜○可シ惜

をはる(をはら)

終る 初ニ対テリ○終身○終世○終日○終始

書籍 書狀 紙 硯墨 筆

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
 帳部卷冊 通 束帖頁葉枚 面對挺 對管本

刀 玉 鏡 扇 額 掛物 折本

一 一 一 一 一 一 一  
 腰振口 顆 面 對把柄本 面 軸幅 帖

腰椅 机 蠟 燭 提 槍 箭 弓  
 掛子 燭 臺 燈

一 一 一 一 一 一 一 一 一  
 脚 脚 挺 基 張 本筋條 手本 張

手 袴 羽 衣 帽 具 旗 大 小  
 拭 織 纒 足 旗 砲 銃

一 一 一 一 一 一 一 一 一  
 筋本 具 領 襲頭 個 領 流 梳 門 挺

○物數稱呼例

をる

をる

居る 處る

卒る

畢る

了る

折る 拉る 拗る

物ヲ折リテ中ヨリ折リテの曲折の九折の折中  
 折レ悪キモノヲ折ル  
 折レテ折レテの拗強の拗戻の執拗の拗レ矢折レテ  
 史記

スリテアルト守テ居リ  
 居ル起テ對テ處ニ去又出テ對テ身ヲ据置テ事ヲ仕来テ  
 〇出處 〇處士 〇處置 〇處分 〇處事

スゴト 〇閱了 〇讀了  
 〇畢生  
 フシマシテ義ヲリ 〇卒シ事ヲ 〇卒業

かう かがい えん えん えん うん じん い

效蓋礙艶艶焰穎鬱蔭陰頭  
効蓋碍艶艶焰穎鬱蔭陰頭

きやう きぎ ぎ き きん かん かん かん かん かん かく

沉殿戲熙器巖澗簡聞慙羹  
沉殿戲熙器巖澗簡聞慙羹

けい けい じん じん じん じん じん じん じん けい けい

隙攜羣款館關怪回畫蛭卻  
隙携群款館関怪回畫蛭却

正字 对照一覽 (上九正字下九俗字)

舟 家藏 屏風 鞍幕 傘 下駄 靴 足袋 帶

一艘 一棟 一雙 一背 一張 一本 一足 一足 一足 一筋

菓子 酒 魚 鳥 畜 馬 車

一折 一瓶 一壺 一樽 一尾 一羽 一匹 一頭 一頭 一匹 一臺 一輛

果 花 木 鱈節 草 水藥 茶

一顆 一朵 一枝 一輪 一本 一聯 一莖 一株 一瓶 一罐 一袋 一封

障子 穀物

一本 一駄 一俵

せん せん せん せふ せつ せい せい せい せい せい せい せい せい せい せい

潜 織 織 變 竊 聲 蕊 醉 垂 盡 診 晉  
潜 織 織 變 竊 聲 蕊 醉 垂 盡 診 晉

たい たい だく だく だく だく だく だく せん せん せん

壺 體 拏 囑 屬 卽 窗 總 麤 誦 翦 僭  
壺 體 拏 囑 屬 卽 窗 總 麤 誦 翦 僭

てい ちん ちん ちん ちん ちん ちん ちん ちん ちん ちん ちん ちん ちん

鼎 鎮 珍 猪 躡 廚 著 場 腸 血 恥 斷  
鼎 鎮 珍 猪 躡 廚 著 場 腸 血 恥 斷

こく こん こん こん こん こん げん げん げん げん げん げん げん げん

穀 國 寇 恆 鉤 鼓 減 獻 妍 研 孽 潔 決  
穀 國 寇 恆 鉤 鼓 減 獻 妍 研 孽 潔 決

く こん こん こん こん こん こん こん こん こん こん こん こん こん

趨 顯 柿 參 贊 雜 巾 插 像 象 桑 阜 壑  
趨 顯 柿 參 贊 雜 巾 插 像 象 桑 阜 壑

しん しん しん しん しん しん しん しん しん しん しん しん しん

眞 職 冗 敘 準 倏 牆 嘗 牀 倡 收 辭 錫  
眞 職 冗 敘 準 倏 牆 嘗 牀 倡 收 辭 錫

氏 牛 禾 木 壬 壬 又 又 又 且 且  
紙 牧 黎 故 社 呈 搔 釵 怪 祖 但  
 祇 物 樹 榭 任 程 騷 粗 坦  
 閔 聖 望 組 祖 ○

類字例  
 專 專 今 余 今 今 奔 奔 尔 尔 氏 氏  
傳 傳 翰 翰 幹 幹 幹 幹 衆 衆 哀 畏 低  
 轉 轉 翰 翰 榭 榭 鋒 鋒 聚 旅 展 抵  
 團 團 旋 旋 乾 乾 逢 逢 喪 誣

竹 竹 束 束 央 央 欠 欠 求 求 流 流  
薄 薄 刺 刺 快 快 決 決 款 款 述 述 球 球 流 流 鏡 鏡  
 簿 簿 速 速 策 策 鞞 鞞 訣 訣 歡 歡 術 術 救 救 疏 疏  
 管 管 救 救 缺 缺 關 關 疏 疏

水 水 小 小 象 象 象 象 斤 斤 斤 斤 心 心 灰 灰 予 予  
承 承 心 心 象 象 象 象 折 折 折 折 祭 祭 癸 癸 條 條 茅 茅 預 預  
 泰 泰 忝 忝 恭 恭 協 協 錄 錄 折 折 折 折 際 際 登 登 遼 遼 叢 叢 務 務 豫 豫  
 慕 慕 慕 慕 緣 緣 緣 緣 折 折 折 折 擦 擦 發 發 察 察 柔 柔 舒 舒

ば ば ば ば ば ば と と と と と と と と と と

冒 襲 寶 旆 杯 霸 鬪 兔 圖 纏 鐵 吊  
 冒 襲 寶 旆 盃 霸 鬪 兔 圖 纏 鐵 吊

み ん っ

脈 駢 餅 屏 竝 富 冰 憑 秘 跋 麥 莽 帽  
 脈 駢 餅 屏 並 富 氷 憑 秘 跋 麥 莽 帽

と っ

菟 衛 庭 爐 鄰 稟 涼 榴 畱 亂 孕 夢  
 菟 衛 庭 爐 鄰 稟 涼 榴 畱 亂 孕 夢



孝武宜沈邨耳艸作卯去召从

孝武宜沉村耳草作卯去召從

卽史形告身季走并朋夔向

卽史形時旁昇年走并朋事窓

梨華雷款幾既異陰便墊垂巽

梨花留款幾既異陰便野垂巽

穉贊鐵賢僕差賓蓋備深逾象

秋贊載貴僕差賓蓋備深運象

宀 冂 斗 斗 卯 卯 冏 冏 臣 臣 呂 呂  
寇 寇 料 糾 質 仰 綱 綱 頤 官 官  
寫 冥 斜 赴 柳 抑 惘 錫 熙 官 官  
寢 解 嘯 聊 迎 剛 臣 臨 遣

○

古字例

(上)

(下)

(今)

矢 犬 毋 毋 商 商 襄 襄 易 易 宀  
笑 突 貫 拇 滴 擲 曩 陽 場 宀  
奏 臭 懼 姆 適 懷 攘 湯 錫 窮  
類 敵 讓 場 賜

戊 股 及 及 艾 卩 卩 力 刀 友 友

戊 服 沒 假 投 郎 郎 功 命 拔 朋  
報 毀 瑕 股 部 印 幼 切 趾 友  
茂 暇 段 郡 御 協 初 髮  
霞 殿 鄉 鄉 募 券 髮

戊 巳 巳 巳 巳 戊 戊  
衛 沁 辰 巳 巳 越 氏  
戊 加 巳 巳 巳 越 氏  
錢 範 祀 而 巳 起 錢 氏

澶

法

一  
蘇

和

一  
鬱

一  
鬱

一

